

令和4年度

事業報告書

社会福祉法人 河内長野市社会福祉協議会

1. 地域福祉活動

- (1) 小地域ネットワーク活動推進事業 . . . . . P 3
- (2) 地域福祉ワークショップ事業 . . . . . P 4
- (3) 地域福祉人材育成事業 . . . . . P 4
- (4) かわちながのボランティア・市民活動センター事業 . . . . . P 8
- (5) 地域力強化推進事業 . . . . . P 10
- (6) 高齢者生活支援体制整備事業の推進 . . . . . P 11
- (7) 社会福祉施設連絡会との連携 . . . . . P 12
- (8) 共同募金運動による財源確保および地域支援 . . . . . P 13
- (9) 福祉団体支援事業 . . . . . P 13
- (10) 災害ボランティアセンター運営事業 . . . . . P 13
- (11) 福祉車両および車いすの貸出し . . . . . P 14

2. 相談支援活動

- (1) 多機関協働による包括的相談支援体制整備事業 . . . . . P 15
- (2) 地域相談支援員の配置 . . . . . P 16
- (3) 障がい者生活支援事業（ピアセンターかわちながの） . . . . . P 17
- (4) 心配ごと相談所の開設 . . . . . P 20
- (5) 日常生活自立支援事業 . . . . . P 20
- (6) 生活困窮者家計改善支援事業 . . . . . P 21
- (7) 生活福祉資金貸付事業 . . . . . P 21

3. 福祉サービス提供

- (1) 障がい者就労支援事業 . . . . . P 22
- (2) 居宅介護支援事業 . . . . . P 23
- (3) 訪問介護事業、介護予防・日常生活支援総合事業 . . . . . P 23
- (4) 障がい者総合支援事業 . . . . . P 23
- (5) 保険外サービス . . . . . P 24
- (6) 受託事業 . . . . . P 24
- (7) 総合的事業 . . . . . P 25

4. 施設管理運営

- (1) 市立福祉センター「キタバ錦溪苑」管理運営事業 . . . . . P 27
- (2) 市立障がい者福祉センター「あかみね」デイサービス事業 . . . . . P 34
- (3) 市立障がい者福祉センター「あかみね」  
生活介護・通所介護事業 . . . . . P 37

5. 法人運営

- (1) 三役会・理事会・評議員会および委員会の開催と監事監査の実施 . P 40
- (2) 理事・評議員研修の実施 . . . . . P 42
- (3) 大阪府社協および大阪府市町村社協連合会、  
河南ブロック市町村社協連絡会への参加および連携 . . . . . P 44

(4) 社会福祉施設連絡会との協働	P 4 5
(5) 組織構成会員制の推進	P 4 5
(6) 賛助会員制の推進	P 4 6
(7) 広告料収入の増強	P 4 7
(8) 善意銀行	P 4 7
(9) 福祉基金事業	P 4 7
(10) 広報啓発事業	P 4 8
(11) 福祉人材の確保および人材育成	P 4 8
(12) 人事・労務管理の充実	P 5 0
(13) 社協運営基盤の強化・拡大	P 5 0

## 事業報告書

河内長野市社会福祉協議会（以下、「社協」という。）は、社会福祉法において、「地域福祉の推進を図ることを目的とする団体」として位置付けられ、地域福祉推進の中核機関として、コミュニティワーカーを配置した地域づくりや、災害時の対応、新型コロナウイルス特例貸付では生活困窮者支援の窓口となるなど、社会的に大きな役割と責任を果たしている。

そのような中、国において「重層的支援体制整備事業」が創設され、社協がその中核的役割を担うため、社会福祉施設連絡会、福祉団体、福祉サービス提供事業者、大阪府社会福祉協議会の「しあわせネットワーク」や専門機関・行政と密接に連携し、各相談支援機関との連携体制の構築をはじめ、多機関協働、アウトリーチを通じた継続的支援、参加支援の本格実施に向けた準備および試行的取り組みを行った。

また、イズミヤ河内長野店4階フロア「地域まちづくり支援拠点」内に事務所移転したことにより、福祉団体や福祉関係者はもとより、民間事業者や多様な団体とさらに連携を図り、行政と社協が一体となって取り組む、地域づくりの基本となる河内長野市第4次地域福祉計画・河内長野市社会福祉協議会第3次地域福祉活動計画『かわちながの つながり・支えあい推進プラン』に基づき、地域課題を解決するため、福祉委員や民生委員・児童委員、ボランティア、地域団体、自治会関係者の参画と協力のもと、コロナ禍などの非常時でもつながりを絶やさないよう地域で持続可能な取り組みを進めた。

さらに、認知症高齢者の増加や成年後見制度の利用促進の動きを踏まえ、市域での包括的な支援体制構築の基盤となる権利擁護支援体制の構築を行うため、日常生活自立支援事業と成年後見制度の効果的な連携や、行政を主体とする総合的な権利擁護・相談支援体制の確立に向けた取り組みを行った。

指定管理者制度に伴う事業においては、第4期指定管理事業者として、利用者本位の地域に密着したサービスの提供やさらなる事業の展開やサービスの向上に努めた。

併せて、本市の「思いやりとぬくもりのある人権尊重のまちづくり条例」に基づき、社会による排除や摩擦、偏見や孤立などをなくし、すべての住民が一人の人間として尊重され、共に支え合いながら安心して暮らせる地域社会の実現をめざし、令和4年度は以下のような事業を展開した。

### 1. 地域福祉活動

#### (1) 小地域ネットワーク活動推進事業

##### ①小地域活動推進事業の実施

地域で安心して孤立することなく暮らせるよう地域での活動を支援した。

- ・個別援助活動（見守り声かけ訪問活動、電話での安否確認など）
- ・グループ援助活動（高齢者や子育て世帯対象のサロン活動や地域リハビリ活動、世代間交流活動など）
- ・福祉委員会活動（福祉委員、協力員の研修会、広報紙の作成など）

##### ②ネットワーク推進事業（福祉委員会委員長連絡会）の実施

各地域での福祉委員会活動における情報交換など定例会議を5回開催した。

③地区(校区)福祉委員会支援事業の実施

福祉委員会などによる地域の交流の場などグループ援助活動の充実につなげるための支援を行った。

④活動拠点支援事業の実施

助成した福祉委員会数	主な活動	開催回数	助成した金額(円)
8	・ 定例会議 ・ 研修会 ・ サロン	12	90,280

(2) 地域福祉ワークショップ事業

①地域福祉啓発事業(講師派遣事業)

校区数	回数	参加人数	主なテーマ
15	23	608	「自分で歩いて楽しい90~100歳代のための準備」 「みんなで地域活動に参加してみませんか」 「消費者問題講習会」 「認知症勉強会」 「在宅医療の現状、そして未来に求めること」 「聞こえについて」~健康に長生きするための秘訣~ 「地域福祉計画・地域福祉活動計画について」

②福祉委員等パワーアップ事業

研修・講座名	講師	参加人数	開催日 場所
新任福祉委員研修会	大阪教育大学 教授 新崎国広 氏	74	6月11日・6月29日 市民交流センター
食品衛生講習会	公益社団法人 大阪食品 衛生協会 河合昭男 氏	21	7月14日 大多目的スペース
福祉委員交流会	日本アクティブコミュニ ティ協会 堅本盛行 氏	30	1月24日 大・小多目的スペース

(3) 地域福祉人材育成事業

①ボランティア育成事業の実施

○福祉教育の推進

「福祉学習プログラム」を作成し、「福祉学習サポーター」の紹介を市内小・中・高等学校などへ行った。

・福祉学習サポーター

種類	団体名
当事者団体など	河内長野市視覚障害者福祉会 河内長野市身体障害者福祉会聴言部会 認知症キャラバンメイト 障がい者福祉センター「あかみね」 ゆっくりいっぽ仲間会
ボランティア	手話サークルてのひら、手話サークルさくらんぼ、

	河内長野点訳サークル、個人登録福祉学習サポーター 民生委員・児童委員
施設等	社会福祉施設連絡会 社会福祉法人みなと寮、社会福祉法人博光福祉会

・福祉学習サポーター活動状況(調整・紹介実績数:47件)

福祉学習プログラム名など ( )内は内容	紹介先
講話と車いす介助体験を通して伝えたいこと (講話と車いす介助体験)	天見小5・6年生、三日市小5年生、加賀田小5年生、高向小4年生、川上小5年生、美加の台小4・5年生、小山田小5年生、天野小5年生、長野小4年生 (車いすの貸出しを含む。)
車いす利用者の講話	令和4年度は依頼なし。
視覚障がいの理解のために (講話と視覚障がい者ガイドヘルプ・アイマスク体験)	高向小4年生、川上小3年生、天見小3・4年生、楠小5年生、美加の台小(アイマスクの貸出しを含む。)
視覚障がいの理解のために (点訳体験)	加賀田小4年生、南花台小4年生、川上小4年生、楠小4年生 (点字器の貸出しを含む。)
聴覚障がいの理解のために (講話と手話体験)	天見小1・2年生、川上小1・2年生、石仏小4年生、加賀田小3・4年生、三日市小5年生、千代田中3年生 加賀田公民館、南花台公民館
認知症キッズサポーター養成講座 (講話)	川上小6年生
障がい者の理解(講話)と障がい者スポーツの体験	令和4年度は依頼なし。
地域福祉を知ろう「ほっとかへん!すごろく」で「ふ・く・し」を学ぶ(講話と体験)	令和4年度は依頼なし。
中途障がい者の理解のために (講話)	楠小5年生
視覚障がいの理解のために (講話)	楠小5年生、美加の台小5年生、天野小3年生

○ボランティア育成、講習会等

研修名	講師	参加人数	開催日 場所
要約筆記ボランティア講習会	要約筆記サークル「葉月」	9	10月15日、10月22日、11月5日 社協ボランティアセンター
ボランティア体験プログラム	—	151	8月23日～28日 イズミヤゆいテラス

河内長野市ボランティア 連絡会交流会	手話サークルさ くらんぼ 木村 ハツ子 氏	27	9月20日 イズミヤゆいテラス
-----------------------	-----------------------------	----	--------------------

○ボランティア相談の実施と活動コーディネート (単位:件)

内 容	令和4年度	令和3年度
活動希望などボランティアに関する相談	51	53
ボランティア紹介(派遣)	20	36

○ボランティア活動への支援

- ・河内長野市ボランティア連絡会、大阪府市町村ボランティア連絡会活動への支援
- ・登録ボランティアへの活動支援(ボランティア保険加入料の助成など)
- ・社協登録ボランティア(グループ、個人)

	人 数		活動内容
	令和4 年度	令和3 年度	
音訳サークル「あい」	19	19	視覚障がい者および高齢者／福祉学習 に参画
手話サークル「さくらん ぼ」	33	30	聴覚障がい者／福祉学習に参画
さざんかの会	9	12	女性相談
手話サークル「てのひら」	24	20	聴覚障がい者／福祉学習に参画
河内長野点訳サークル	14	14	視覚障がい者／福祉学習に参画
パレアナグループ	9	9	施設内高齢者
要約筆記サークル「葉月」	12	11	聴覚障がい者／福祉学習に参画
かわちながの字幕サークル	11	12	聴覚障がい者
傾聴ラブハンド	14	17	施設内高齢者の傾聴(ハンドマッサー ジ)
いきいき情報誌「輝く」	9	9	情報誌作成、情報誌作成の研修など
河内長野おもちゃ病院	9	9	子どもたちのおもちゃを修理する活動
合 計	163	162	
個人登録ボランティア	78	75	傾聴、福祉レクリエーション、余興など

・ ボランティア活動総合補償制度の受付

	プラン等	令和4年度		令和3年度	
		加入者数 (人)	加入料 (円)	加入者数 (人)	加入料 (円)
ボランティア保険	Aプラン	196	58,800	490	147,000
	Bプラン	301	150,500	602	301,000
	Cプラン	38	22,800	23	13,800
	Cプラン 大規模 災害特例	0	0	0	0
ボランティア・市民活 動行事保険	A区分	14,798	443,940	8,091	242,730
	B区分	101	13,534	0	0
	C区分	0	0	0	0
	1泊2日	0	0	0	0
	2泊3日	0	0	0	0
	3泊4日	0	0	0	0
	4泊5日	0	0	0	0
	5泊6日	0	0	0	0
	6泊7日	0	0	0	0
	Ⅲ型	2,189	65,670	1,490	44,700
移送中事故傷害保険	I型	0	0	0	0
	Ⅱ型	0	0	0	0
非営利・有償活動団体 保険	Aプラン (3月受付)	4	11,400	10	40,900
	Aプラン (4月受付)	24	117,600	21	102,900
	Bプラン (3月受付)	0	0	6	23,610
	Bプラン (4月受付)	9	56,700	9	56,700
	感染症 見舞金	23	43,010	34	63,580
合 計		17,683	983,954	10,776	1,036,920

・ 軽トラックの貸出し

	令和4年度(件)	令和3年度(件)
福祉委員会・小学校・まちづくり協議会	24	15



## ②福祉委員等スキルアップ事業

講座名	講師	参加人数		開催日 場所
		令和 4年度	令和 3年度	
福祉レクリエーション講習会（手遊び編）	大阪府レクリエーション協会 池邊美保子 氏	22	—	9月28日 イズミヤゆいテラス大 多目的スペース
福祉レクリエーション講習会（ボッチャ編）	障がい者福祉セン ター「あかみね」 甲斐千喜 氏	24	—	10月21日 イズミヤゆいテラス大 多目的スペース
ファシリテーター講習 会	株式会社ひとまち ちょんせいこ 氏	42	—	12月8日 イズミヤゆいテラス大 多目的スペース
Web 会議（Zoom）入門 セミナー	一般社団法人フォ ースプレイス 四ヶ所伸一 氏	8	—	2月17日、2月24日 イズミヤゆいテラス大 多目的スペース

### ○福祉レクリエーション用品の貸出し

貸出団体	貸出数	主な内容
25 グループ	44	・ 地域サロンでの使用 ・ 地域子育てサロンでの使用

## （４）かわちながのボランティア・市民活動センター事業

### ①市民公益活動に関する情報の収集および提供

事業名称	日程	内容
ホームページの管理運 営	4 月	社協内のホームページにセンターのタブを設 置し、情報を閲覧できるようにした。 また、公式 LINE を作成し、登録者に対してボ ランティア情報や市民活動情報、「講習会案 内」や「つながり定期便」を活用し毎月発信 した。
助成金・顕彰金情報の公 開	4 月	ミーティングルームに、助成金・顕彰金情報 のファイルを常時設置し、住民が閲覧でき るよう公開した。
登録団体ガイドブック	5 月～11 月	センターの登録団体（106 団体）に対して、活動 内容やニーズの聞き取りを行った。11 月にガ イドブックを 500 部発行した。 令和 5 年 4 月発行に向けて簡易版を作成した。
他市町村施設の調査・研 究	9 月	茨木市市民公益活動支援センター（4 名）、吹田 市市民公益活動支援センター（4 名）の見学。 市民活動センター機能の活性化について学ん だ。
イベント情報の発信	7 月、10 月、1 月	市広報・社協だよりの広報・イベントチラシに て周知した。

登録団体アンケート	2～3月	センターの登録団体（106団体）に対して、センター利用状況や事業についてアンケート調査を行った。
-----------	------	--

○センター管理運営の事業

内容	令和4年度	令和3年度
ワークスペースの利用、ミーティングルームの利用	551（うち、土曜日利用件数：59）	430（うち、土曜日利用件数：52）

②市民公益活動に関する人材の育成および学習機会の提供

事業名称（内容）	講師	参加人数	開催日 場所
くろまる塾本部講座 ーボランティア編ー 新しい自分発見！ボランティア てなんなん？	大阪ボランティア協会 青山織衣 氏	16	11月13日 イズミヤゆい テラス
キホンからわかる市民公益活動 のための助成金講座	吹田市市民公益活動センター 副センター長 柳瀬真佐子 氏	16	1月28日 イズミヤゆい テラス

※要約筆記ボランティア講習会、ボランティア体験プログラムについては、地域福祉人材育成事業にて報告

③市民公益活動に関する相談、助言およびコーディネート

事業名称	内容	令和4年度（件）	令和3年度（件）
相談・コーディネート機能	活動希望などボランティアに関する相談	59	53
	ボランティアの紹介	41	18
	登録団体に関する相談	3	18
	NPO法人の設立準備事務に関する相談	0	2
出前ボランティア一覧	出張系のボランティア分野を分類し紹介する一覧表を作成し、地域へコーディネートした。	—	—

④市民公益活動に関する連携および交流促進

事業名称	内容	参加団体 参加人数	開催日 場所
つながりフェスタ～こころもからだも感じてつながる市民活動フェスティバル～	ステージ披露及びバザーの開催	20団体 来場 1140名	6月4日 イズミヤゆいテラス
つながりフェスタ～展示でつながる市民活動フェスティバル～	パネル展示及びバザーの開催	34団体 来場 386名	8月23日～8月28日 イズミヤゆいテラス

団体交流会	登録団体同士のグループワーク	20 団体 25 名	2 月 14 日 イズミヤゆいテラス
つながりフェスタ～わーくわくつながる体験！市民活動フェスティバル～	ワーク体験及びバザーの開催	26 団体 来場 286 名	3 月 25 日 イズミヤゆいテラス

⑤地域課題を解決するためのビジネス手法に関する調査・研究

事業名称(内容)	講師	参加人数	開催日・場所
豊かなムラ暮らしのためにできること～小さな道の駅からのチャレンジ～	一般社団法人 ちはやあかさかくらす 理事 菅原裕己 氏	—	中止

(5) 地域力強化推進事業

①地域住民が主体的に地域生活課題を把握し解決を試みることができる環境の整備地区(校区)福祉委員会、地域まちづくり協議会、自治会、その他地域活動団体、事業者等のあらゆる主体が地域生活課題について議論する場として、地域懇談会を開催した。

日程	開催地域	場所	参加者数
1 月 21 日	天野小学校区	あやたホール	15
1 月 29 日	楠小学校区	松ヶ丘集会所	15
2 月 9 日	高向小学校区	みのでホール	29
2 月 11 日	美加の台中学校区	コミュニティルームさくら	58
2 月 17 日	南花台中学校区	南花台南集会所	16
2 月 18 日	千代田小学校区	千代田小ラーニングスペース	34
2 月 18 日	加賀田中学校区	加賀田公民館	47
2 月 19 日	長野小学校区	キックス大会議室 AB	13
2 月 19 日	天見小学校区	上岩瀬自治会館	22
2 月 21 日	小山田小学校区	あやたホール	17
2 月 25 日	三日市小学校区	イズミヤゆいテラス	23

②地域生活課題に関する相談を包括的に受け止める体制の整備

小学校区ごとに民生委員・児童委員と地域パートナーの協働で地域住民に対して相談会(みじかサロン)の開設を行った。

○みじかサロン開催

日程	地区	場所
4 月 20 日	長野	にぎわいプラ座
5 月 25 日	美加の台	美加の台老人第一集会所
6 月 22 日	千代田東	千代田公民館
7 月 27 日	高向	高向公民館
8 月 24 日	天野小山田(小山田)	小山田中央集会所
9 月 28 日	天野小山田(天野・緑ヶ丘)	天野公民館

10月26日	千代田西	千代田公民館
10月26日	加賀田(石仏)	加賀田公民館
11月24日	三日市	三日市公民館
12月21日	天見	天見公民館
1月25日	加賀田(加賀田)	加賀田公民館
2月22日	南花台	南花台公民館
3月22日	川上	川上公民館

#### ○テーマ型サロン「ほっとかへん」の開催

困りごとを自覚できず、自から支援を避けているという人が、「自分が困っている」と気づき、支援に繋がるためには、地域の支援者と専門職が連携し対応することが必要となる。地域に関わる支援者間で「困っているのでは」という気づきを共有し、解決する方法を探る場を持つためにテーマを絞リサロンを開催し連携の契機とした。各回、当事者家族・民生委員・児童委員、福祉委員、ボランティア、専門職（ケアマネージャーなど）などが参加した。

#### 開催状況

日程	テーマ	講師・ゲスト	参加者数
6月27日	認知症	河内長野市おれんじチーム（認知症初期集中支援チーム） おれんじくらぶ（認知症家族介護者教室）	17
8月24日	ひきこもり	大阪府ひきこもり地域支援センター 田上貢氏	21

### （6）高齢者生活支援体制整備事業の推進

多様な日常生活上の支援体制の充実と高齢者の社会参加促進を一体的に図ることを目的に、市域全体をエリアとする第1層に、また日常生活圏域（概ね中学校区域等）をエリアとする第2層に、それぞれ「生活支援コーディネーター」を配置し「協議体」の開催・運営をはじめ住民主体の支えあい活動の支援を行った。第1層の協議体「かわちながの地域ささえあい推進会議」（通称：ささえあいの集い）を「生活支援の仕組みづくり」をテーマに（年5回）、「移動支援」をテーマに（年1回）、開催し、活動や組織運営に関する情報共有や意見交換を行った。また、食を通じた居場所づくり支援者交流会を開催し、コロナ禍での活動について意見交換を行い活動再開のきっかけづくりとした。第2層の「生活支援コーディネーター」の活動は以下の通りとなる。

#### ①社会資源マップの構築による可視化

第2層生活支援コーディネーターが要支援者に必要な社会資源について各担当地域の情報を収集した。

#### ②既存の社会資源の充実

第2層生活支援コーディネーターの相談支援活動では、次の活動に関わり活動に効果的な情報提供や活動の情報発信を行い支えあいの活動を支援した。

#### ○食事を通じた居場所

- ・えん（荘園町）
- ・チャイルドシート（小山田町）
- ・Tommy's Happy（三日市）
- ・ごはんやday（市町、加賀田、南花台）
- ・キッチンいろどり（千代田南町）

- 介護予防体操など健康維持増進を目的とした居場所
  - ・元気でいる会（本多町、アルカ薬局コミュニティスペースでの介護予防教室）
  - ・げんきやday（市町）、楽々やday（市町）
  - ・シルバースクール（三日市）
  - ・「ワード」クリエイション シゲサト（美加の台）
- その他の居場所
  - ・1／ffのゆらぎ（日東町）
  - ・えんがわ（南花台）
- 生活支援の仕組み
  - ・困りごとサポートこ・こ・わ美加の台（美加の台）
  - ・困りごとサポートこ・こ・わ楠ヶ丘（楠ヶ丘）
  - ・南花台 生活応援チーム「お互いさん」（南花台）
  - ・清見台日常生活支援グループ「きよまる」（清見台）
- ③サービスの担い手の養成と新たなサービスの開発
  - ・運転ボランティア養成講座の開催
  - ・南ヶ丘にて生活支援の仕組みづくり支援
  - ・生活支援ボランティア養成講座の開催
- ④生活支援ニーズと社会資源のマッチング
 

民生委員・児童委員や福祉委員、連携する専門職などから生活支援ニーズを社会資源につなげた。また、地域ケア会議に関わる自立支援会議に出席し、インフォーマルな社会資源情報をコーディネートした。
- ⑤支援関係者間のネットワーク
 

各地域包括支援センター、医師会地域連携室などと連携強化を目的に情報共有を行った。

(7) 社会福祉施設連絡会との連携

社会福祉施設の地域貢献活動がさらに展開するよう、社会福祉施設連絡会の事務局である社協が住民主体の地域福祉活動とのコーディネーター役となり、下記のとおり取り組みを行い地域福祉活動の充実を図った。

開催日	場 所	内容など
11月4日 11月15日 11月21日 11月28日 12月20日 12月21日	天野小学校 川上小学校 高向小学校 加賀田小学校 天見小学校 小山田小学校	福祉学習の一環として、車いす体験の講師を施設職員(みなと寮・寿里苑)が実施した。
年間	「なんすいひまわり号」 停車場所：河内長野駅、イズミヤ、楠翠台各所	楠翠台の地域において、社会福祉法人みなと寮が車輛と運転手を提供し、坂道の多い楠翠台地域の移動困難者を支援する仕組みとして、月～金曜に「なんすいひまわり号」の運行を行った。利用者のニーズをうけ午前便を増便している。 ※新型コロナウイルスの影響により一時運休あり

(8) 共同募金運動による財源確保および地域支援

共同募金運動は地域福祉推進のための財源として、大きな役割を担っていることから各関係機関および団体の協力を得て、役職員が一丸となって募金運動を展開した。

(単位:円)

募金種別	令和4年度	令和3年度
戸別募金	2,032,897	2,322,287
法人募金	976,895	1,061,749
バッジ募金	629,500	640,000
学校募金	369,388	332,076
街頭募金	142,288	7,990
募金箱募金	220,870	274,672
その他募金	2,218	2,288
合計	4,374,056	4,641,062

歳末たすけあい募金運動を行い、市内で活動している食の居場所を実施している団体に配分した。

(単位:円)

募金種別	令和4年度	令和3年度
歳末たすけあい募金	28,618	38,453

(9) 福祉団体支援事業

民生委員児童委員協議会、老人クラブ連合会、保護司会（地区保護司会を含む）、更生保護女性会、身体障害者福祉会、遺族会、原爆被害者の会、母子福祉会、心身障害児・者父母の会、日赤河内長野市地区、赤十字奉仕団、献血推進協議会の支援事業を行った。

また、昨年度に引き続き河内長野・大阪狭山地区保護司会の事務局を担うとともに、民生委員・児童委員の一斉改選に必要な支援を事務局で行った。

(10) 災害ボランティアセンター運営事業

① マニュアルを使った災害V.Cの設置・運営訓練の実施

平成27年3月26日に締結した、「災害に対する河内長野市と河内長野市社会福祉協議会の相互支援に関する協定書」に基づき、市内で災害が発生するとその被害状況や住民ニーズに応じて、早期に災害V.Cの設置運営が必要とされることから、昨年度に引き続きその整備を行った。また、登録災害ボランティア、市民を対象に災害ボランティア養成講習会を開催した。

開催日	研修名	参加者数	研修内容
3月19日	令和4年度災害ボランティア養成講習会	42	災害V.Cでどのような活動を行うのかを実践報告を通じて考え、その困りごとにどのような資機材を使い、どう対応するのかを安全対策も含めて基礎的な技術を学んだ。

② 大阪府社協と連携し、eコミ・プラットフォームを活用した、実践事例集&ガイドラインの作成を行った。

③登録災害ボランティアの募集および育成

災害ボランティアの登録状況

(単位:人)

	令和4年度	令和3年度	活 動 内 容 な ど
災害ボランティア登録者数 (H24年1月より登録開始)	127	127	被災地での災害ボランティア活動 および平時のスキルアップ

④災害ボランティア活動用資機材の募集および整備

活動用資機材の整備、現状の個数確認を行った。

⑤ソーシャルネットワーキングサービスを活用し、災害VCや災害ボランティア活動に関する情報提供を行った。

○ツイッター(<https://twitter.com/ksyakyouusaigaiv>)

○フェイスブック(<https://www.facebook.com/kawachinaganosisaigaivc>)

⑥災害VCの市民への周知・啓発活動

例年、福祉委員を対象に日赤講習会を開催し災害VCの周知・啓発活動を行っているが、令和4年度については新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

⑦被災地への災害ボランティア活動および実地研修

全国各地で発生した災害に対し、災害ボランティア活動及び実地研修を行うとともに、大阪府社協および被災地社協と連携し被災地復旧復興支援活動を行っているが、コロナ禍により外部ボランティアの受け入れがなく活動を行わなかった。

⑧おおさか災害支援ネットワーク(OSN)への参加

おおさか災害支援ネットワーク(以下、「OSN」という。)とは、災害時に効果的な連携を果たすために、「お互いを知ることからはじめよう」を合言葉に集まった災害時に何らかの支援活動を行う各種団体のネットワークのことをいい、平成26年7月9日開催のネットワーク会議から今年度で20回目の開催となり、社協ではOSNに参画し各種団体との連携を図った。

⑨大阪府内社協災害担当職員会議への参加状況

開催日	開催場所	会 議 の 内 容
9月12日	大阪府社会福社会館	市町村社協災害担当職員会議
1月25日	太子町立総合福祉センター	大阪府災害VC運営シミュレーション
1月30日	大阪府社会福社会館	災害ボランティアコーディネーター研修会

⑩災害に関する協定の締結

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、災害が発生した被災地への災害ボランティア活動へのボランティアの全国的な移動に制限がかかり、被災地主体による復興復旧が求められていることから、特定非営利活動法人PASと災害VCに関する協定を締結した。

(11) 福祉車両および車いすの貸出し

①スロープ付き自動車の貸出し

	令和4年度	令和3年度
貸出件数(件)	9	13

走行距離(km)	636	684
内 容	通院 7 件・外出 2 件	通院 12 件・外出 1 件

## ②車いすの貸出し

機 器	令和 4 年度	令和 3 年度
車いす	144	108
介護用ベッド	10	10
合 計	154	118

※介護用ベッドについては新規貸出しを終了。

## 2. 相談支援活動

### (1) 多機関協働による包括的相談支援体制整備事業

地域共生社会の実現を目指し、複雑化・複合化した支援ニーズを有し、様々な解きほぐしが求められる事例に対し、複数の支援関係機関が相互の有機的な連携の下、その解決に資する支援を一体的かつ計画的に行う体制を整備することを目的に相談支援包括化推進員を配置し以下の活動を行った。

#### ①支援関係機関等からつながれた、複合化・複雑化した事例などに対し支援した。

- ・多機関協働事業支援会議を通じて個別支援した。(9ケース)
- ・多機関協働事業支援会議開催9回(その他ケース会議2回)

#### ②支援関係機関等のネットワークを構築した。

重層的支援体制整備事業における、研修会の開催や庁内連携研修に参加し多職種連携の意義を伝えるとともに相談支援包括化推進員を紹介した。

日時	場所	参画機関・内容
4月19日 5月24日 6月21日 いずれの回も 13:30~16:30	キックス	研修会「多職種連携について～包括的支援のすすめ～」 相談支援専門職を対象に連携に関するスキルアップ研修を実施。
2月7日 13:30~15:30	市役所 802 会議室	連携研修会 庁内窓口部門、包括支援センター、障がい者基幹相談支援センター、CSW

#### ③社会資源の充足状況の把握と開発に向けた検討を行った。

重層支援体制整備事業における、レビュー会議を開催し社会資源の充足状況の把握と開発に向けた検討の場を進めた。



日時	場所	参画機関・内容
2月24日 10:00~12:00	市役所 502 会議室	レビュー会議 相談支援関係機関

## (2) 地域相談支援員の配置 (CSW)

要支援者等に対し、見守り、課題の発見、専門的相談の実施、必要なサービスや専門機関への紹介等の支援を行うことにより、地域福祉ネットワークの構築を図るとともに、要支援者等の自立と地域福祉の向上を図ることを目的に相談支援員（コミュニティソーシャルワーカー（CSW））は「いきいきネット相談支援センター」を拠点に以下の活動を行った。

①地域生活課題を抱える地域住民及びその家族その他の関係者からの相談に包括的に応じ利用可能な福祉サービスに関する情報の提供、社会福祉施設連絡会などの支援関係機関との連絡調整、その他必要な支援を行った。

### ・対象者別

相談対象者	延べ件数	件数	相談者数
高齢者	728	166	161
（うち）一人ぐらし高齢者	387	82	80
（うち）高齢者のみ世帯	121	46	45
障がい者	448	81	64
（うち）身体障がい者	69	11	7
（うち）知的障がい者	102	6	5
（うち）精神障がい者	173	38	32
子育て中の親子	54	16	12
一人親家庭の親子	58	13	7
青少年	119	8	7
DV 被害者	3	2	1
ホームレス	0	0	0
外国人	2	1	1
その他（疾病）	146	17	14
その他（同居以外の親族）	37	5	2
その他（近隣住民）	25	13	10
その他	86	35	34
合計	1,706	357	313

### ・内容別

相談内容	延べ件数	件数
福祉・サービスに関する相談	278	73
生活に関する身近な相談	476	120
健康・医療に関する相談	257	53
生活費に関する相談	108	36
就労に関すること相談	28	4
財産管理・権利擁護に関する相談	36	15
消費者被害に関する相談	0	0

多重債務に関する相談	0	0
DV・虐待に関する相談	13	4
地域福祉・ボランティア活動に関する相談	40	26
住宅に関する相談	42	13
子育て・子どもの教育に関する相談	15	6
その他（社会保険）	2	2
その他（社会福祉関係税制）	100	35
その他（近隣トラブル）	75	25
その他（CSWからの働きかけ）	45	32
合計	1,515	444

※件数はカウント方法が対象者と内容別とそれぞれ異なります。

・連携先

機関種別	件数
民生委員・児童委員	123
地域包括支援センター	72
公的機関	59
介護保険関係施設	52
社会貢献支援事業	11
医療機関	9
医師会	8
福祉委員	8
障がい福祉サービス相談支援	3
障がい福祉サービス関係施設	1

②民生委員・児童委員と共に地域でみじかサロンを開催し、地域生活課題解決のための地域づくりに資する支援を行った。

③重層的支援体制整備事業に基づく、地域生活課題を抱える地域住民に対して活動の機会の提供、訪問による必要な情報の提供及び助言その他の社会参加のために必要な支援を行った。また、社会的孤立など生活課題を抱える地域住民に対して、個人のニーズに合わせた社会参加の機会を提供するため、居場所「参加支援事業 楽園やday」を開始した。

開催月	内容	参加者数
11月	農作業（玉ねぎ苗の植え付け）、茶話会	参加者7人、ボランティア2人
1月	農作業と体操（ヨガ）、茶話会	参加者6人、ボランティア2人
3月	農作業と体操、茶話会	参加者7人、ボランティア2人

④重層的支援体制整備事業に基づく、地域社会からの孤立が長期にわたる者その他の継続的な支援を必要とする地域住民及びその世帯に対し、訪問により状況を把握した上で相談に応じ、利用可能な福祉サービスに関する情報の提供及び助言その他必要な支援を継続的に行った。

・アウトリーチ等を通じた継続的支援事業実施件数 23件（内11件は終結）

(3) 障がい者生活支援事業（ピアセンターかわちながの）

基幹相談支援センターとして、河内長野市に居住する障がい者等からの相談に応じ、必要な情報の提供、助言、障がい福祉サービスの利用支援等を行うことにより、障がい者が自立した生活を営むことができるよう支援した。

## ①障がい者相談支援事業

### ア 福祉サービスの利用援助

居住地域における施設などの利用の相談に対して、利用可能な施設の紹介および利用援助を行った。

・就労移行・就労継続支援事業所、短期入所の見学・面接の同行・支援。入所施設への入所支援。

・サービス等利用計画の作成および利用者と事業所に対するサービス調整

(サービス等利用計画 214 件 延べ支援回数 1,350 件)

・ガイドブックの利用、活用支援

・介護保険移行に係る地域包括支援センターとの連携、居宅介護支援事業所やケアマネジャーの紹介、引き継ぎ。

### イ 社会資源を活用するための支援

障がい者福祉センターあかみねや福祉センター錦溪苑、子ども・子育て総合センターあいつく、地域活動支援センター、南河内南就業・生活支援センターの紹介や面接同行などの利用援助を行った。

### ウ 社会生活力を高めるための支援

福祉機器等の福祉に関する情報提供やサービス利用について相談に応じ支援を行った。

・居宅介護、生活介護等の紹介・支援

### エ ピアカウンセリング

・当事者相談会を定期的に開設した。

火曜日：聴覚障がい者 水曜日：肢体不自由 木曜日：視覚障がい者

・ピアカウンセラー合同の会議を定期的を実施した。

・日常生活および自立生活についての助言を行った。(26 件)

・民生委員・児童委員や社協職員対象の啓発を行った。

### オ 権利の擁護のための必要な援助

・成年後見制度に関する相談等で専門機関の紹介や手続きに関する助言を行った。

### カ 専門機関の紹介

法テラス、障害者職業センターなど専門機関への紹介や情報提供を行った。

### キ 地域自立支援協議会への参画

### ク 障がい者就労相談

・現在就労中である方の定期面談を行った。

## ②地域自立支援協議会の運営

相談支援事業を効果的に実施するため、地域における障がい者等への支援体制に関する課題について情報を共有し、関係機関等が相互の連絡を図ることにより、連携の緊密化を図るとともに、地域の実情に応じた体制の整備及び相談支援体制の構築を図るため事務局として運営を行った。

会議名	開催回数	内 容
全体会	2 回 6 月 2 月	・委託相談支援事業所の報告について ・各部会の報告について ・地域診断と評価について
運営会議	12 回	・全体会について ・情報交換

		・相談支援事業所連絡会開催について
就労支援部会	8回 (オンライン含む)	・今年度より委託就労相談支援事業所として相談支援リンクが参加。 ・地域課題の抽出 ・就労フローチャート作成ワーキング(1回) ・各機関からの情報提供、情報交換など
精神障がい者地域生活定着支援部会	4回	・病院訪問(リモート)、研修会など ・錦秀会看護学校研修会
子ども部会	2回	・医療的ケアワーキング(4回) 昨年度取り組んだヒヤリングに基づき、課題認定をおこない、解決策についての検討を実施 ・地域課題・連携ワーキング(3回) 社会資源の共有や資源の活用についての課題・効果・連携についての意見交換とアクションプランの検討を実施 ・児童支援連絡会の開催(2回+各委員会) 合同説明会の開催
委託事業所会議	12回	・各事業所への通達事項の共有 ・協議事項の整理 ・相談支援事業所連絡会開催について
地域自立支援協議会情報交換会	1回	・地域自立支援協議会の取組事例紹介 ・情報交換会、行政説明

### ③相談支援(基幹相談支援センター)機能強化事業

・研修会の実施

研修名	日時・場所	内容
サポートブック作成ワークショップ	① 9/20 ② 10/24 ③ 11/8	ピアは一と共催。サポートブックの活用推進を目的に、サポートブックの必要性を学ぶ。
支援教育コーディネーター合同研修会	8/23	教育指導課共催。教育と福祉お互いの役割を知り、関係づくりを目的とする。
障がい者虐待防止研修会	9/28 キックス	令和4年度より障がい者虐待防止の推進の為、従事者への研修実施義務化。虐待に関する基礎を南河内広域事務室鞍作氏に講演いただく。
多職種連携について ～包括的支援のすすめ～	① 4/19 ② 5/24 ③ 6/21 キックス	重層的支援体制整備移行準備事業との合同研修会。相談支援における連携の重要性について。
面談技術力アップ研修	①5/24②6/21③ 7/19 フォローアップ 研修 8/30	ピアは一と共催。サポートブックの必要性、基礎的な相談援助技術やポイントを学ぶ。

・医療的ケア児等支援 医療的ケア児等コーディネーター 1名配置

・各種機関のネットワークへの参画

行事名	日程・場所
雇用フォーラム	会議 (5/25、7/27、9/28) フォーラム開催 (2/24)
南河内ブロック進路指導関係機関連絡会	12/23 西浦支援学校 3/28 富田林支援学校
大阪府医療的ケア児等コーディネーター情報交換会	2/27 大阪急性期・総合医療センター
在宅医療児地域連携会議	3/14 富田林保健所
医療的ケア児等コーディネーター3市合同会議	4/26 大阪狭山市役所 9/29 ゆいテラス
南河内南就業・生活支援ネットワーク	5/25、7/27、9/28、3/15
精神保健医療ネットワーク協議会	11/21、1/31、3/7
自殺対策連絡会議	11/30
支援学校進路懇談会	10/24 富田林支援学校

・大阪府相談支援従事者初任者研修5人、大阪府相談支援従事者現任研修13人、サービス管理責任者1人のインターバル期間の研修生の受け入れを行い、障がい者地域自立支援協議会の活動や市の現状の説明、スーパービジョンを行った。

④住宅入居等支援事業

地域での1人暮らしを希望する障がい者に対して、不動産会社の紹介や同行を行った。

⑤成年後見制度利用支援事業

令和6年に向けて進められている中核機関設立に向けて委員として参画し、成年後見制度利用支援について連携した体制作りを進めた。

⑥サービス等利用計画等の作成

障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第19条及び児童福祉法第21条の5の2に基づく支給決定を受けた障がい者(児)に対して障がい者ケアマネジメントの手法を用いて相談支援を行った。特に特定事業所で担当することが難しい案件(契約者が遠方のケースやサービス調整の複雑かつ多職種の連携が必要な)を担当した。契約者数98人(3月末現在)(新規契約者数5人 解約者数17名)

(4) 心配ごと相談所の開設

民生委員児童委員協議会地区委員長を相談員として委嘱し、市民が気軽に来所し、あらゆる悩みごとや心配ごと相談ができる相談所として社協にて月1回、各小学校区にて1回実施した。また、河内長野市主催の「くらしの総合相談(年1回)」に相談員を派遣し、市民からの相談に応じた。小学校区での開催については、各地区の民生委員・児童委員とCSWや地域パートナーが地域課題について情報共有する機会となった。

	令和4年度	令和3年度
相談件数	6	2
開設日数	26	18

主な相談内容として、高齢者福祉や家族関係に関する相談があった。

(5) 日常生活自立支援事業(あんしんサポートサービス)

市内在住の認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者などで判断能力が不十分な方に対して、福祉サービスの利用援助サービス、日常的金融管理サービス、通帳や証

書類・印鑑などの預かりサービスなどを行い、地域での安心した自立生活をサポートした。

	令和4年度	令和3年度
契約件数	40	42
新規契約者数	2	3
契約者への訪問延べ回数	840	889
相談件数	1,461	1,421
事業問い合わせ件数	9	15
(内訳)認知症高齢者	4	9
(内訳)知的障がい者	2	2
(内訳)精神障がい者	3	3
(内訳)その他	0	1

(6) 生活困窮者家計改善支援事業

生活に困窮している人を対象に、課題がより複雑化・困難化する前に相談に応じ、自立した生活が送れるように支援した。

① 支援者数 ※年度末=前年度末+当年度新規-(当年度終結+当年度取止め)

令和4年度				令和3年度			
新規	終結	取止め	年度末	新規	終結	取止め	年度末
5	3	1	8	2	3	1	7

②相談延べ件数

分類		令和4年度	令和4年度 合計	令和3年度	令和3年度 合計
		延べ回数		延べ回数	
支援者	面談対応	115	166	111	216
	電話対応	51		105	
自立支援機関	面談対応	25	32	22	30
	電話対応	7		8	
関係機関	面談対応	6	12	9	16
	電話対応	6		7	
合計	面談対応	146	210	142	262
	電話対応	64		120	

(7) 生活福祉資金貸付事業

新型コロナウイルス感染症特例貸付に関する相談対応を行った。相談を受ける中で、生活費の貸付以外の困りごとがある方に対しては、自立相談支援機関やCSWと連携し、対応した。

低所得者、高齢者、障がい者世帯や生計中心者の失業により生計の維持が困難になった世帯への経済的自立および生活意欲の助長促進、在宅福祉の支援および社会参加の

促進を図るため、各種資金の貸付けを民生委員の協力を得て実施した。

資金種別	令和4年度			令和3年度		
	相談延べ件数	貸付申込件数	貸付決定金額(円)	相談延べ件数	貸付申込件数	貸付決定金額(円)
福祉資金	37	1	87,000	13	3	115,000
教育支援資金	150	11	6,593,000	23	12	8,137,000
総合支援資金	17	1	0	0	0	0
臨時特例つなぎ資金	0	0	0	0	0	0
緊急小口資金 (小口生活資金含み)	60	8	485,000	0	0	0
不動産担保型生活資金	1	0	0	0	0	0
離職者支援資金	0	0	0	0	0	0
新型コロナウイルス特例(小口)	268	71	14,500,000	316	316	62,800,000
新型コロナウイルス特例(総合)		73	47,700,000	815	815	483,390,000
資金不明	0	0	0	0	0	0
合計	533	165	69,365,000	1,167	1,146	544,442,000

### 3. 福祉サービス

#### (1) 障がい者就労支援事業

障がい者就労継続支援B型事業所『オリーブ』で、様々なイベントを通じて地域との関わり合いを大切にし、社会性を身につけ、生きがいや楽しみを持って充実した生活ができるよう支援した。

##### ①施設外就労など、様々な作業内容の機会を提供した。

年度	令和4年度	令和3年度	前年度対比
利用者延べ数	4,375	4,704	-329
請求対象者	298	326	-28

##### ②生活支援やイベントなどの社会体験の機会を提供した。

日程	場所	内容
4月4日	イズミヤゆいテラス	ゆいテラス・パースデーフェスティバル
5月20日	六甲山・神戸どうぶつ王国	日帰り研修
6月4日	イズミヤゆいテラス	つながりフェスタ
6月15日	イズミヤゆいテラス	オリーブ交流会

7月24日	イズミヤゆいテラス	ゆいテラスのえんにち
8月27日	イズミヤゆいテラス	つながりフェスタ
9月2日	イズミヤゆいテラス	避難訓練
11月12日	くろまろの郷	くろまろ福の市
12月19日	市町ダイアリー	調理実習（ヘルパー勉強会）
12月23日	オリーブ	クリスマス会
1月4日	長野神社/オリーブ	初詣・新年会
3月25日	イズミヤゆいテラス	つながりフェスタ

(2) 居宅介護支援事業

利用者ニーズの把握に努め重度化予防に着目し、自立した日常生活を送れるよう支援した。また、多職種連携を強化し切れ目のないサービス提供ができるよう、プラン作成に努めた。

① 居宅介護支援事業 (単位：件)

認定区分	令和4年度	令和3年度	前年度対比
要介護者	991	1,164	-173

② 介護予防支援事業 (単位：件)

認定区分	令和4年度	令和3年度	前年度対比
要支援者	426	466	-40

③ 要介護等認定調査 (単位：件)

市町村名	令和4年度	令和3年度	前年度対比
河内長野市	100	43	57
他市町村	5	8	-3
合計	105	51	54

(3) 訪問介護事業、介護予防・日常生活支援総合事業

利用者が安心して日常生活を過ごせるようにヘルパーの対応力向上に努め自立支援、重度化予防に視点を置いたサービスを提供した。

① 訪問介護事業

令和4年度		令和3年度		前年度対比	
回数	時間数	回数	時間数	回数	時間数
8,483	9067 : 10	9,544	10,180 : 30	-1,061	-1,113 : 20

② 介護予防・日常生活支援総合事業

令和4年度		令和3年度		前年度対比	
回数	時間数	回数	時間数	回数	時間数
2,857	2,171 : 45	2,929	2,220 : 45	-72	-49 : 00

(4) 障がい者総合支援事業

障がい者が安心して地域で生活が送れるように、精神面も含めたサポートを行った。また、重度化・高齢化を踏まえ、他事業所や医療機関との連携を図り、利用者の意思および人格を尊重した相談支援や、適切なサービスを提供した。



① 居宅介護事業

令和4年度		令和3年度		前年度対比	
回数	時間数	回数	時間数	回数	時間数
7,970	11,226 : 15	10,461	14,484 : 35	-2,491	-3,258 : 20

② 同行援護事業

令和4年度		令和3年度		前年度対比	
回数	時間数	回数	時間数	回数	時間数
1,992	9,088 : 00	1,762	7,715 : 30	230	1,372 : 30

③ 重度訪問介護事業

令和4年度		令和3年度		前年度対比	
時間数		時間数		時間数	
3,931 : 00		3,333 : 00		598 : 00	

④ 地域生活支援事業（移動支援）

令和4年度		令和3年度		前年度対比	
回数	時間数	回数	時間数	回数	時間数
2,147	9,220 : 30	2,236	8,534 : 00	-89	686 : 30

⑤ 行動援護事業

令和4年度		令和3年度		前年度対比	
回数	時間数	回数	時間数	回数	時間数
30	128 : 00	35	157 : 30	-5	-29 : 30

⑥ サービス等利用計画

(単位：件)

種別	令和4年度	令和3年度	前年度対比
新規支援計画（更新）	119	102	17
継続支援計画（モニタリング）	114	123	-9
新規支援計画（初回）	1	7	-6

⑦ 障がい支援区分認定調査

(単位：件)

	令和4年度	令和3年度	前年度対比
河内長野市	20	51	-31

(5) 生活応援サービス（制度外サービス）

令和4年度		令和3年度		前年度対比	
回数	時間数	回数	時間数	回数	時間数
193	221 : 15	149	162 : 55	44	58 : 20

(6) 受託事業

① 河内長野市訪問介護型A事業従事者研修事業

	令和4年度	令和3年度	前年度対比
開催月	10月	10月	
参加人数	7	5	2

② 河内長野市家庭訪問支援事業

令和4年度		令和3年		前年度対比	
回数	時間数	回数	時間数	回数	時間数
21	22 : 30	0	0	21	22 : 30

(7) 総合的事業

① 地域の福祉活動や介護技術講習などに職員を派遣した。

開催日	テーマ	派遣人数
10月4日	産前産後ヘルパー養成講座 ～子育て家庭への家事援助を学ぶ～	1
3月12日	千代田地区いきいき介護フェア：介護講座	3

② 大学などが開校する同行援護従事者養成研修などへの講師派遣(今年度開催なし)

③ 全体研修会を以下のとおり実施した。

実施月	場所	内容
5月	ノバティホール	・ 接遇 ・ 利用者のプライバシー保護の取り組みについて ・ 感染症・食中毒予防対策及びまん延防止
9月	ノバティホール	・ ストレスチェック ・ 利用者における公共交通機関利用時の取り扱いについて ・ 記録の書き方について ・ 事故発生等緊急時の対応 ・ 事故再発防止(リスクマネジメント)
3月	ノバティホール	・ 認知症及び認知症ケアについて ・ 虐待防止・身体拘束の適正化について

④ 介護・コミュニケーション技術や調理実習などの勉強会を以下のとおり実施した。

開催日	場所	テーマ
11月30日	市町 diary	調理実習(利用者と共に)

⑤ 情報紙「華」を発刊した。(1月)

⑥ 利用者アンケート調査を実施した。(7月・8月)

⑦ 介護サービス情報公表及び障がいサービス情報公表を実施した。(9月・10月・1月)

⑧ 法令遵守のため、定期的な自主点検・自己評価を実施した。(8月・1月)

⑨ 職員のスキルアップのため、各種研修会を以下のとおり受講した。

月 日	開催場所	研修内容	参加人数
5月10日	大阪介護支援専門員協会	大阪府介護支援専門員実務研修実習受入れ説明会	1
6月24日 7月7日 7月8日	オンライン研修 大阪私学会館	令和4年度大阪府サービス管理責任者等実践研修	1
6月24日	市民交流センター キックス	「河内長野市スキル向上学びの集い」 第4回事例検討会	3
6月28日 6月29日	オンライン研修	令和4年度 サービスマナーセミナー (中級リーダークラス)	1
6月15日 ～ 7日課程	オンライン研修	社会福祉法人会計の簿記入門・初級講座	1
8月24日 ～	オンライン研修	社会福祉法人会計の簿記中級講座	1

9月28日			
10月17日	プリムローズ	食品衛生責任者養成講習会	1
9月24日	市民交流センター キックス	精神疾患を正しく理解するための教育の必要性について	2
9月15日 ～ 10月31日	オンライン研修	令和4年度指定障がい福祉サービス事業者等及び移動支援登録事業者ならびに指定障がい児通所支援事業者等にかかる集団指導	1
10月13日	市民交流センター キックス	介護現場におけるカスタマーハラスメント	1
11月11日	市民交流センター キックス	河内長野市ケアネットワーク会議感染症・災害対策部会研修会 感染症対策研修会～第8波を見据えて～ 第1部新型コロナウイルス感染症3年の軌跡 第2部クラスター発生時の感染予防対策等について	2
11月16日	オンライン研修	介護サービス事業のICTの活用と人材確保・育成・定着	1
12月21日 ～ 3月3日	オンライン研修 国際交流センター	令和4年度大阪府サービス管理責任者 《基礎研修》	2
12月16日	大阪府社会福祉会館	福祉・介護サービス従事者に求められる職業倫理	1
12月13日	オンライン研修	食べる楽しみを持続させる支援～高齢者の嚥下と栄養の話～	1

⑩居宅介護支援計画など各種支援計画事例検討会議を毎月第3木曜日に実施した。

⑪令和4年度市町diary利用状況

月	令和4年度		令和3年度	
	団体数	利用回数	団体数	利用回数
4月	4	13	4	12
5月	4	11	0	0
6月	4	14	3	4
7月	5	14	5	12
8月	5	11	4	11
9月	4	12	4	13
10月	4	13	4	13
11月	4	11	5	14
12月	5	13	4	13
1月	5	12	4	12
2月	5	13	3	8
3月	4	15	4	14
合計	53	152	44	126

利用団体：ごはんやday、げんきやday、楽々やday、ソーイングなど

⑫毎月1回、福祉センターにおいて「福祉なんでも相談」を実施。

(8月・9月・11月・12月中止)

#### 4. 施設管理運営

##### (1) 市立福祉センター「錦溪苑」管理運営事業

福祉センターでは、新型コロナウイルス感染拡大防止のための休館、ESCO 事業による照明等取替工事による休館により開館日が減少した中で、利用者の健康維持や衛生面、感染防止に配慮した管理運営を行った。

特に臨時休館時における利用者への連絡を密に行うとともに開館時には利用者の意見を反映し、安心して施設利用できるように取り組んだ。

また、新規登録者数は119人があり、多くの方の居場所として利用されており、利用者のニーズに添った事業を展開するため利用者へのアンケートや当事者団体からの聞き取りなどを実施するとともに、より利用満足度が増すよう運営委員会などの意見も反映し、利用者の立場に立ったサービスの向上を図った。

また、避難所運営を円滑に行うため、感染症などの対策にも対応可能な福祉避難所運営マニュアルを作成し、行政と協議を行った。

##### 《施設利用状況》

月	開館日	利用者数			
		男	女	計	1日平均
4月	25	1,740	1,436	3,176	127
5月	23	1,569	1,340	2,909	126
6月	26	1,827	1,376	3,203	123
7月	26	1,715	1,313	3,028	116
8月	0	0	0	0	0
9月	11	562	463	1,025	93
10月	25	1,801	1,524	3,325	133
11月	5	372	243	615	123
12月	0	0	0	0	0
1月	22	1,573	1,373	2,946	134
2月	22	1,688	1,490	3,178	144
3月	26	1,968	1,637	3,605	139
令和4年度合計	211	14,838	12,212	27,050	128
令和3年度合計	247	14,653	10,160	24,813	100

##### 《浴場利用状況》

月	開館日	利用者数			
		男	女	計	1日平均
4月	25	1,185	808	1,993	80
5月	23	1,054	702	1,756	76
6月	26	1,191	735	1,926	74
7月	26	1,145	708	1,853	71
8月	0	0	0	0	0
9月	11	332	235	567	52
10月	25	1,181	731	1,912	76
11月	5	283	184	467	93

12月	0	0	0	0	0
1月	22	1,033	695	1,728	79
2月	22	1,107	718	1,825	83
3月	26	1,350	888	2,238	86
令和4年度合計	211	9,861	6,404	16,265	74
令和3年度合計	247	10,859	7,327	18,186	74

### ①生きがいつくり

生涯学習および教養の向上を図るため、利用者のニーズに添った講座を開催するとともに、センターで過ごす時間が利用者の生きがいとなるよう下記の事業を計画していたが、感染拡大防止のため多くのイベントを中止した。

#### 《講座開催状況》

令和4年度			令和3年度		
講座名	参加人数	実施期間	講座名	参加人数	実施期間
健康運動教室	8	4/14～9/29	健康運動教室	7	4/15～9/30
	0	中止		8	10/21～3/24
ロビーコンサート	0	中止	ロビーコンサート	0	中止
フラダンス教室	0	中止	フラダンス教室	0	中止
囲碁将棋大会	17	2/21	囲碁将棋大会	0	中止
カラオケ発表会	0	中止	カラオケ発表会	0	中止
教養講座（スマホセミナー）	12	1/31	教養講座	0	中止
変わり風呂（あひる湯）	0	中止	変わり風呂（あひる湯）	0	中止
合計	37		合計	15	

### ②健康増進および相談事業の拡充

理学療法士・看護師による健康運動教室、血圧測定、機能回復維持訓練を行うとともに医師やケアマネジャー、CSWによる福祉なんでも相談を実施した。

また、キタバ薬局が行うロコモ体操教室と連携し、高齢者の健康維持・増進に努めた。

#### ○機能回復維持訓練の実施

疾病・負傷により心身の機能低下を招いている利用者の機能の維持回復を図り、日常生活の自立を助けるために、理学療法士および看護師による訓練指導を実施した。

#### 《機能回復維持訓練実施状況》

（単位：人）

月	令和4年度			令和3年度		
	男	女	計	男	女	計
4月	2	9	11	0	13	13
5月	2	10	12	0	0	0
6月	1	10	11	0	0	0
7月	0	5	5	0	0	0
8月	0	0	0	0	0	0

9月	0	0	0	0	0	0
10月	0	4	4	0	10	10
11月	0	0	0	0	7	7
12月	0	0	0	1	8	9
1月	0	0	0	1	8	9
2月	0	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	1	4	5
合計	5	38	43	3	50	53

### ○血圧測定の実施

利用者の健康に対する不安を解消するため、看護師による血圧測定を月2回（第2・4金曜日）実施した。

《血圧測定実施状況》

（単位：人）

月	令和4年度				令和3年度			
	回数	男	女	計	回数	男	女	計
4月	2	3	4	7	2	2	5	7
5月	2	2	4	6	0	0	0	0
6月	2	2	2	4	0	0	0	0
7月	2	1	3	4	0	0	0	0
8月	0	0	0	0	0	0	0	0
9月	0	0	0	0	0	0	0	0
10月	2	3	4	7	2	2	3	5
11月	0	0	0	0	2	4	5	9
12月	0	0	0	0	2	4	3	7
1月	2	3	1	4	2	4	4	8
2月	2	3	3	6	0	0	0	0
3月	2	4	1	5	1	2	2	4
合計	16	21	22	43	11	18	22	40

### ○福祉なんでも相談の実施

利用者の健康や困りごとなど生活全般に対する不安を解消するため、ケアマネジャー、CSW、医師による福祉なんでも相談を実施した。（毎月第2水曜日）

《福祉なんでも相談実施状況》

（単位：人）

月	令和4年度			令和3年度		
	男	女	計	男	女	計
4月	0	0	0	0	0	0
5月	1	1	2	0	0	0
6月	0	1	1	0	0	0
7月	0	0	0	0	0	0
8月	0	0	0	0	0	0
9月	0	0	0	0	0	0
10月	0	0	0	0	0	0
11月	0	0	0	1	1	2
12月	0	0	0	1	0	1
1月	0	0	0	0	0	0
2月	1	0	1	0	1	1
3月	0	0	0	0	0	0
合計	2	2	4	2	2	4

### ③自主活動の拠点づくり

感染拡大防止などにより開館日が減少した中で、センタークラブが自主活動できるように支援した。また、新規利用者や加入希望者への紹介を行うとともに、各センタークラブの紹介ポスターを館内に掲示し活動をPRした。

さらに、年々増加傾向にあるセンタークラブ以外の10人以上で構成する各種団体グループ・サークル・同好会に対し活動の場を提供した。

#### 《センタークラブ活動状況》

クラブ名	活動日	活動場所	会員数
あみもの	第1・3(金)	サークル2	13
生け花(すずらん会)	第2・4(火)	サークル2	7
カラオケ歌謡会	第3(水)	大広間	14
カラオケ平成会	第2(土)	大広間	17
カラオケみちづれ会	第3(金)	大広間	13
茶道(裏千家)	第1・3(木)	洗心亭	5
詩吟クラブ	第1・3(水)	サークル1	9
書道	第2・4(土)	サークル2	9
水彩画クラブ	第2・4(水)	サークル2	11
水墨画(午前)	第1・3(木)	サークル2	8
社交ダンススワン	第1・3(土)	サークル2	7
太極拳	第2・4(木)	サークル2	17
大正琴	第2・4(火)	大広間	12
手描き友禅	第2・4(金)	サークル1	7
ヨガクラブ	第2・4(火)	訓練室	7
レザークラフト	第1・3(金)	サークル2	4
レッツダンス	第1・3(水)	サークル2	11
陶芸クラブ※	第1・3(金)	サークル3	7

### ④新規事業および自主事業の企画と実施

感染拡大防止のため、施設利用の制限もあり行政と調整を行った結果、中止とした。

### ⑤情報の提供

○ホームページの更新 (<http://business4.plala.or.jp/kinkeien/>)

毎月ホームページを更新し、広報啓発を行った。

○広報紙「キタバ錦溪苑だより」の発行

2ヶ月に一度、福祉センターの事業内容や予定を掲載した広報紙「キタバ錦溪苑だより」を発行し情報提供を行うとともに、利用者の拡大をめざし市役所および各公民館、民間福祉施設など市内各所に配布、設置した。

(発行部数1回:1,800部)

○日常生活における情報提供

河内長野市で高齢者などに対する詐欺が増加していることから、河内長野警察の協力により、啓発ポスターの掲示およびチラシの配布を行い、詐欺被害を未然に防止するための啓発活動を行った。

### ⑥浴場設備の安全衛生管理

社会福祉施設におけるレジオネラ菌防止対策(厚生労働省通知)を遵守するとともに保健衛生管理・安全対策として水質維持・管理を図るため、浴場関連設備および貯湯槽の清掃・洗浄、1日4回の塩素濃度検査による塩素消毒の徹底を行い、利用者への衛生

面に配慮した施設管理運営を行った。

⑦送迎バスの運行

利用者の利便性を確保するため、市内巡回・単位老人クラブ・市内主要駅（河内長野・千代田・三日市町・美加の台の4駅）への送迎バスを運行した。

《市内巡回送迎バス利用状況》

（単位：人）

曜日	地区名/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	R4 合計	R3 合計
第 1・3 火	千代田東	5	7	11	6	0	0	1	0	0	1	4	4	39	61
	千代田西	23	4	11	5	0	0	11	6	0	10	19	12	101	237
第 1・3 木	天野・旭ヶ丘	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	青葉台・加賀田	10	9	14	11	0	0	14	0	0	14	15	11	98	130
第 1・3 土	川上・楠台	2	2	4	2	0	1	2	2	0	2	2	2	21	16
	南ヶ丘・南花台	27	23	27	23	0	7	29	15	0	30	26	32	239	171
第 2・4 火	小山田・緑ヶ丘	5	8	9	7	0	4	0	0	0	0	4	6	43	22
	莊園・寺ヶ池	9	6	7	2	0	3	3	0	0	5	6	3	44	116
	楠翠台・向野町	1	2	1	2	0	1	0	0	0	1	2	3	13	30
第 2・4 木	高向・滝畑	1	11	13	6	0	2	8	0	0	7	3	6	57	50
	長野・楠ヶ丘	9	5	4	4	0	2	7	0	0	7	3	6	47	70
第 2・4 土	天見・楠台	2	5	2	3	0	1	4	0	0	2	1	2	22	25
	美加の台・清見台	2	2	4	4	0	0	1	0	0	1	1	2	17	18
合 計		96	84	107	75	0	21	80	23	0	80	86	89	741	946

《第5週バス運行実績》

第1便：千代田駅～河内長野駅

第2便：美加の台駅～三日市駅

	運行回数	乗車人数
令和4年度	7	124
令和3年度	9	116

《地域貢献活動》

今年度より他福祉センターと結ぶ移動手段として開始

毎週木曜日：あやたホール、障がい者福祉センター「あかみね」、市役所

毎週土曜日：くすのかホール（単位：人）

月	あやたコース (毎週木曜日)	くすのかコース (毎週土曜日)	合計
4月	0	1	1
5月	2	2	4
6月	0	1	1
7月	1	1	2
8月	0	0	0
9月	0	0	0
10月	1	1	2
11月	0	0	0
12月	0	0	0



1月	2	2	4
2月	2	4	6
3月	1	3	4
合計	9	15	24

《単位老人クラブ送迎利用状況》

月	令和4年度		令和3年度	
	回数	乗車人数	回数	乗車人数
4月	0	0	0	0
5月	1	42	0	0
6月	2	128	0	0
7月	1	34	0	0
8月	0	0	0	0
9月	0	0	0	0
10月	1	44	1	38
11月	0	0	1	42
12月	0	0	1	45
1月	2	132	0	0
2月	1	46	0	0
3月	1	44	0	0
合計	9	470	3	125

《市内主要駅送迎利用状況》

(単位：人)

月	河内長野	千代田	三日市	美加の台	令和4年度 合計	令和3年度 合計
4月	22	90	9	25	146	138
5月	16	89	9	22	136	0
6月	21	63	16	16	116	39
7月	19	67	11	12	109	123
8月	0	0	0	0	0	121
9月	4	22	2	0	28	120
10月	19	78	7	17	121	138
11月	3	17	5	4	29	145
12月	0	0	0	0	0	135
1月	18	73	8	23	122	110
2月	19	60	16	31	126	142
3月	27	84	10	27	148	150
合計	168	643	93	177	1,081	1,361

⑧福祉センターまつりの開催

センタークラブの日頃の活動の成果を発表する場として、センターまつりを計画していたがコロナ禍で施設利用の制限もあり、展覧会の開催、センタークラブの紹介パネルの設置、手作りショップ「シルバー」の出店、キタバ薬局よりロコモ体操の宣伝ブースの設置など規模を縮小して「みにみにセンターまつり」(令和5年2月18日)として開催した。

⑨周知・啓発事業の開催

センターを次世代の利用者をはじめ広く市民に知っていただくことを目的としたロビーコンサートなどについては、感染拡大防止のため事業を中止した。

⑩福祉センター運営委員会の開催

運営の適正化を図るため、有識者や当事者団体の代表、市民の代表の他、センター利用者からも委員を選出し、これまで以上に幅広く意見を随時取り入れた。

⑪福祉団体の支援

市老人クラブ連合会、市母子福祉会の事務局として活動を支援するとともに、センター事業に積極的に協力をいただいた。

⑫消防避難訓練の実施（自衛消防訓練）

実施日	参加者数	対 象
7月21日	18	センター職員および社協職員（応援班）
2月16日	17	センター職員および社協職員（応援班）

⑬避難所の開設

防災・減災には事前の避難が有効であることから、行政と連携を図り避難所を開設した。

《開設の原因および開設日と人数》

開設状況	開設期間	避難者数
台風14号 (大雨・土砂災害)	9月19日 午後3時00分から 9月20日 午前6時05分まで	4

⑭福祉避難所運営マニュアルの策定

避難所運営を円滑に行うため、感染症などの対策にも対応可能な福祉避難所運営マニュアルを作成し、行政と協議を行った。

⑮各種研修会や講習会の受講

月 日	開催場所	研修内容	参加人数
6月18日	動画配信による研修	大阪府委託事業 「感染症・食中毒予防対策講習会」	1
7月21日	キックス	社会福祉施設の事業継続計画（BCP） 策定について	1
11月8日	クレオ大阪中央ホール	大阪府委託事業「新型コロナウイルス感染症を中心とした最新情報」	1
1月31日	市役所	指定管理者制度研修会	1
3月7日 3月8日	動画視聴による人権研修	「僕は絵本の中で初めて出会った～絵本の取材で見た食肉業と差別～」	6
3月9日 3月10日	堺市立梅文化会館	防火管理者講習会	1

## (2) 市立障がい者福祉センター「あかみね」デイサービス事業

障がい者福祉センターは、河内長野市内在住の障がい者と地域との自由な交流を通じて障がいを正しく理解していただくとともに、障がい者福祉の拠点としての役割を果たすべくセンター機能の充実を図った。

また、感染拡大防止を徹底して教室・クラブを実施することで、障がい者の余暇活動や居場所としての機能を維持させた。運営委員会やアンケート調査の実施により、利用者、ボランティア、市内福祉関係の事業所の意見を集約することで、事業の見直しや今後の展開について調整を行った。施設管理については、芝生の養生（ふれあい広場 あかみね）や必要な修繕については早期に対応するなど、施設管理の徹底と過ごしやすい環境づくりを行った。

指定福祉避難所として、あかみね「防災・避難訓練」を実施し、感染防止を徹底し縮小ながらも、日頃の備えや災害に対する意識を高めるとともに河内長野市と連携し、必要な物資や機材、備蓄品の確保に努めた。

さらに、あかみね「防犯訓練」を実施し、河内長野警察署から不審者対応と市内の詐欺の状況と対策について学び、防犯について考える機会となった。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和4年7月28日より9月20日の間は臨時休館に伴い、クラブ・教室などの事業については中止した。

障がい者福祉センター利用者数合計

(単位：人)

	重度	中度	軽度	小計	その他	令和4年度	令和3年度	前年度対比
クラブ・教室	1,190	1,307	254	2,751	2,234	4,985	2,596	2,389
貸室	370	458	46	874	2,104	2,978	1,769	1,209
生活介護	1,931	890		2,821	92	2,913	2,732	181
その他				23	89	112	49	63
合計				6,469	4,519	10,988	7,146	3,842

### ①機能訓練および社会適応訓練

社会活動への参加と自立を促進するために、機能訓練および社会適応訓練として各種教室・クラブを開催した。また、障がいのある方と地域の方々が交流できる場を提供した。

ア 機能訓練として、カラオケクラブ、ミニSLを実施した。

飲食を伴う料理教室・手作りパン教室は感染拡大防止のため中止とした。

イ 社会適応訓練として、パソコンクラブ、ソフトバレーボールを実施した。

### ②創作活動および更生訓練

充実した日常生活を過ごせる場を提供するとともに、喜びを実感できる創作活動および更生訓練などを通じ社会参加の促進を図り、各活動を行った。

ア 創作活動として、ペイント&クラフト、フラワーアレンジメント、書道、創作、絵画、手織り、陶芸、エンジョイなどのクラブ・教室を開催した。

イ 更生訓練として、障がい者の健康増進と社会参加の促進を図るため、グラウン

ドゴルフなどのクラブ、教室を開催した。  
飲食を伴う茶道は感染拡大防止のため中止とした。

③講座・講習会について

心豊かに楽しくいきいきとした日常生活が送れるよう、オンラインの活用をしながら講座・講習会を開催した。

ア IT講習会を実施した。(5月～2月)

イ ボッチャ、大正琴、卓球、ボールエクササイズ、フライングディスクなどの教室を開催した。

ウ 点字講習会を開催した。(7月19日、26日)

エ ボランティア講習会を開催した。(2月9日)

④医療、福祉、生活相談

専門医（整形外科医・精神科医）による医療相談を実施した。

・医療相談 毎月1回、専門医師の相談を実施した。

整形外科医相談（偶数月）みやざき整形外科 宮崎医師

精神科医相談（奇数月）老寿サナトリウム 北畑医師

・健康・生活相談

看護師が健康・生活相談を必要に応じて実施した。

・看護処置・看護相談

看護職員によるケガなどの応急処置や看護に関する相談を実施した。

⑤市民啓発事業

市広報、社協だより、ホームページにて、事業の啓発や募集を行った。必要な市民に情報が届くよう、関係機関への情報提供を行い周知に協力依頼をした。

・あかみねフェスティバルを開催した。

・「ふれあい広場 あかみね」を子ども達の遊びの場として活用した。

⑥ボランティア養成およびグループ活動支援

誰もが平等に参加できるように、それぞれの障害特性や困りごとに合わせた配慮を常に意識してもらえるように支援をした。

・ボランティア体験プログラムでは、ボッチャ体験を実施した。

⑦障がい者福祉センター運営委員会の開催

運営委員会を開催し、各委員からの意見を反映し、サービスの向上を図るとともに運営の適正化を行った。

⑧福祉団体の支援

市身体障害者福祉会、市心身障害児・者父母の会の事務局として活動を支援した。

⑨その他必要な事業

ア 障がい児支援

・ペアレント・トレーニング（10回）を実施した。

- ・米田和子氏による講演会「ペアレント・トレーニングを通して親としての生き方を考える～発達凸凹のある子どもを支える親として、支援者として～」を実施した。
- ・講演会「家庭や学校で生きづらさのある子どもたちへの関わり～作業療法による提案～」を実施した。
- ・作業療法相談を実施した。
- ・保護者会（おやとも保護者会）をオンラインも活用しながら定期的に開催し、保護者同士の支えあいや専門家による助言を実施した。
- ・アンガーマネジメント講習会を実施した。

イ 外出事業

堺市総合防災センターへの見学と体験を実施した。 (2月28日)

ウ 福祉教育の支援強化

各種学校などと連携し福祉教育・交流の場を実施した。社会福祉士実習については、感染対策を行いながら実施した。

エ 送迎バスの運行およびタクシー補助事業

センター利用者の利便性の向上を図るため、送迎バスの効率的な運行やタクシー補助事業の実施および貸室の利用者への対応を行った。

送迎バス利用者数合計 (単位：人)

	朝迎え	昼迎え	15時送り	16時送り	令和4年度	令和3年度	前年度 対比
ルート送迎	484	1,197	836	0	2,517	1,113	1,404

タクシー補助事業

利用件数は、54件あった。(登録者数25人：前年度49件)

オ 虐待防止や権利擁護などについての研修に参加するとともに内部研修を実施した。

令和4年度 職員のスキルアップ研修会などへの参加状況

月 日	開催場所	研修内容	参加 人数
4月19日、27日、 5月2日、10日、 17日	大江ビル・イズミヤゆいテラス	市町村社協新任研修会	1
5月19日・6月8日、 22日	イズミヤゆいテラス・キタバ錦溪苑	河内長野市社協新任職員研修	1
6月23日	イズミヤゆいテラス	障がい者地域自立支援協議会全体会	1
7月20日	オンライン研修	令和4年度市町村社協 新任事務局長・管理職員研修会	1

7月21日	キックス	河内長野市社会福祉施設連絡会 合同研修	2
7月26日、8月23日、9月27日	エルおおさか	人権リーダー養成研修	10
9月10日	オンライン研修	発達に課題のある子の中学校卒業後の進路	1
9月28日	キックス	障がい者虐待防止委員会	2
10月19日	クロスパル高槻	2022年度 就労支援基礎講座	1
11月6日	堺市産業振興センター	SDGsの推進・合理的配慮のための「優しい日本語」研修	1
11月8日	クレオ大阪中央	感染症予防対策講習会	1
12月8日	河南町保健センター	自立支援協議会スキルアップ研修会「強迫症を、ときほぐす」	1
1月31日	市役所	河内長野市指定管理者制度研修会	1
2月21日	キックス	河内長野市社会福祉施設連絡会	2

カ 防災関係

あかみね「防災・避難訓練」を実施した。 (11月15日)

キ 防犯対策

あかみね「防犯訓練」を実施した。 (3月16日)

ク 意向調査

クラブ・教室の運営や活動と送迎バスの運行について意向調査を実施し、今後の運営について検討を行った。

○ 大会参加への支援、独自事業

- ・グラウンドゴルフ大会 (5月16日・10月24日)
- ・ペアグラウンドゴルフ大会 (5月14日・10月8日)
- ・ふれあい卓球大会 (10月22日)
- ・大阪府ボッチャ大会 (11月23日)
- ・ヨガ教室 (毎月第3日曜日)
- ・地域活動支援センターの設置に向けた会議を行った。  
(8月10日、9月14日、11月28日)

(3) 市立障がい者福祉センター「あかみね」生活介護・通所介護事業

利用者の意思・人格を尊重し、自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう支援計画を作成して、排せつおよび食事、移動の介助、創作的活動または生産活動

の機会の提供、その他の便宜を適切かつ効果的に行った。また、65歳に達した利用者を介護保険法に基づく通所介護事業所に継続通所できるように対応し、身体機能の維持や家族などの介護負担の軽減に努めた。さらに利用者の心身状況への対応については、関係機関などとともに連携を図りながら、生活相談も含めスムーズに利用できるように支援した。

また、重度心身障がい者や強度行動障がい者および高齢化する障がい者などが安心して利用できる体制づくりの充実に努めた。(契約者数21人[令和3年度20人])

(1日の利用平均人数：約11人)

#### ①個別支援計画および通所介護計画の作成

利用者・家族などとの三者懇談を年2回実施し、支援内容・状況を説明するとともに、新たなニーズを支援計画に反映した。その結果として、利用者に良質なサービスを提供した。

#### ②身体などの介護

日中活動をするうえで必要な排せつ・食事・移動などの介護を行った。また、医療的ケアの必要な利用者に対し、医療的ケアの充実に努めた。

#### ③生産活動

手工芸品(マスクストラップ、マスクケース、ランチバック、オーダーメイドでのバッグなど)の製作・販売を行った。また、ファスナー付きの商品の製作をはじめた。パソコン印刷(名刺・カレンダー・年賀状など)および喫茶コーナーの運営を行った。

ア 手工芸品の販売(市民サロンへの参加・「オリーブ」での展示・販売)

イ 内職(ごみシール封入作業)

ウ 印刷(名刺86件・カレンダー2件・年賀状15件・地域の冊子の作成1件・チラシ1件)

エ 喫茶

#### ④創作的活動

毎月、季節を感じ取れる壁面装飾作品を作成し、館内への展示を行った。また、利用者の生活に役立てるため、個人の予定などが分かるような創作カレンダーを作成し、レクリエーションで使う輪飾りを作成した。

#### ⑤生活指導(相談・援助など)、レクリエーション

利用者の日常生活上の多様な生活課題について、相談・援助を行った。また、軽スポーツやヨガなどのプログラムを実施するとともに、お花見や野菜の収穫・芋ほり、クリスマス会・新年会・節分・ひな祭り行事を実施するなど様々なレクリエーションを提供した。

#### ⑥機能訓練

嘱託医師の指導・助言のもと、利用者の健康管理を行った。また、四天王寺和らぎ苑より理学療法士を派遣していただき、利用者の身体機能および日常生活能力の維持向上に努めた。

## ⑦生活相談

生活面での向上を図るために、短期入所などを利用していない利用者とその家族などに対して、福祉サービスの情報提供を行った。

## ⑧健康管理

嘱託医師の指導・助言に基づき、職員が脈拍・体温・血中酸素濃度・体重測定などを行い、身体の変化に注意し健康管理に努めた。さらに、身体 of 血行改善を目的に岩盤足浴を実施した。また、新型コロナウイルス感染予防対策として、来館時に手洗い・うがいを実施し、アルコール手指消毒を徹底した。10月には大阪府巡回接種チームを事業所に派遣してもらい、生活介護利用者4名が新型コロナワクチンの接種を受けた。

## ⑨訪問支援

通所ができない状況になった利用者の自宅へ訪問し、相談・支援などを行った。訪問ができない場合は、電話にて相談・支援を行った。

## ⑩送迎サービス

送迎バスを運行し、利用者の利便性の向上を図った。また、送迎バスの故障の際には、送迎体制を一時的に見直すなど臨機応変に対応した。

## ⑪前各号に掲げる便宜に附帯する便宜

その他日中活動上必要な介護・支援・相談・助言などを行った。

## ⑫その他必要な事業

ア 家族会（開催回数：1回 11名出席）

内容：利用者と家族へ事業報告を行い、意見交換を行う。

イ 判定会議（開催回数：1件）

内容：新規の利用者が安心して通所していただくために、利用の適否に係る判定に関し、医師・看護師・管理者・サービス管理責任者およびその他関係者と協議し、判定した。

ウ 教室・レクリエーション

・ボランティアの支援により、ヨガ教室を月3回開催し、利用者の健康維持増進を図った。

・軽スポーツ（宝探し・フライングディスク・リアル野球盤・借り物競争など）、カラオケを実施した。

・利用者間の交流を深めるために「お花見」、「クリスマス会」、「季節行事」を実施した。

エ 虐待防止や権利擁護などについての研修に参加するとともに内部研修を実施した。  
令和4年度 職員のスキルアップ研修会などへの参加状況

月 日	開催場所	研修内容	参加人数
9月28日	キックス	障がい者虐待防止研修	1
9月30日	大阪府社会福祉会館	障がい児者・救護施設課程基礎コースⅡ	1



11月26日	ラブリーホール	ハンセン病に学ぶ～取材現場より～	1
2月2日	障がい者福祉センターあかみね	機能的口腔ケア研修	1
3月7日	富田林保健所	精神保健福祉医療関係職員研修会「統合失調症の理解と支援～パーソナルリカバリーとクライシスプランについて～」	1
3月9日	大阪府社会福祉会館	大阪府サービス管理責任者等更新研修	1
2月17日～3月31日	オンライン配信	第7回 SARAYA 感染対策 Web セミナー「感染対策マニュアルの作り方」	1

・内部研修

ノロウイルス対策として、看護師による汚物処理の実践練習を行った。

オ 生活介護・通所介護PR活動・啓発

富田林支援学校の体験実習生を受け入れ、また支援学校が発行する事業所案内冊子に掲載する事業所情報を提供するなど、生活介護事業のPRや啓発を行った。また、介護サービス情報公表センター（大阪府社会福祉協議会）へ通所介護事業所の情報を公表した。

・つながりフェスタに参加し、啓発と手工芸品の販売を実施した。

（8月27日、3月25日）

・キタバフェスティバルに参加し、啓発と手工芸品の販売を実施した。（10月16日）

## 5. 法人運営

### （1）三役会・理事会・評議員会および委員会の開催と監事監査の実施

#### ①定例三役会の開催

事業推進の意思決定を明確、迅速に行うため正副会長・管理職員による定例会議を毎月1回開催し、社協が抱える課題を把握し解決に向け役員と事務局との意思疎通を図りながら、円滑な法人運営を行った。

#### 三役会開催状況

会議名	年間開催数	協議事項
定例三役会	12	当該月の事業予定・懸案事項の協議 他

#### ②理事会の開催状況

月日	会議の名称	審議内容
6月2日	第1回	①令和3年度事業報告 ②令和3年度資金収支決算〔監査報告〕 ③令和4年度資金収支予算第1次補正予算(案) ④理事候補者の選定 ⑤評議員候補者の推薦 ⑥評議員選任・解任委員の選任 ⑦定時評議員会の招集事項の承認

7月11日	第2回 【書面審議】	①評議員選任候補者の推薦に関する承認
9月26日	第3回 【書面審議・報告】	①育児・介護休業規程の改正 ②会長及び常務理事の職務執行状況報告
12月19日	第4回 【書面審議】	①第2回評議員会(書面審議)の招集事項の承認 ②評議員選任候補者の推薦に関する承認
1月20日	第5回	①副会長の選定 ②理事の委員会構成
3月1日	第6回	①令和4年度資金収支予算第2次補正予算(案) ②令和5年度事業計画(案) ③令和5年度資金収支予算(案) ④理事候補者の選任 ⑤役員の報酬及び費用弁償に関する規程の改正 ⑥諸規程等の改正 ・職員給与規程 ・職員給与規程細則 ・非常勤職員就業規則 ⑦役員等賠償責保険への加入 ⑧第3回評議員会の招集事項に関する承認 ⑨会長及び常務理事の職務執行状況の報告

### ③評議員会の開催状況

月 日	会議の名称	審 議 内 容
6月17日	定時評議員会	①令和3年度事業報告 ②令和3年度資金収支決算〔監査報告〕 ③令和4年度資金収支予算第1次補正予算(案) ④理事の選任
1月6日	第2回	①理事の選任
3月23日	第3回	①令和4年度資金収支予算第2次補正予算(案) ②令和5年度事業計画(案) ③令和5年度資金収支予算(案) ④理事の選任 ⑤役員の報酬及び費用弁償に関する規程の改正 ⑥諸規程等の改正(報告) ・職員給与規程 ・職員給与規程細則 ・非常勤職員就業規則 ⑦役員等賠償責保険への加入(報告)

### ④理事・評議員合同会議の開催状況

月 日	会議の名称	内 容
7月28日	理事・評議員 合同会議	令和4年度共同募金運動実施計画の協議

### ⑤委員会の開催状況

月 日	会議の名称	会 議 の 内 容
6月1日	総務委員会	社協だよりNo.124号(7月1日号)の発行
6月2日	評議員選任解任委員会	評議員の選任について(3名)

7月19日	評議員選任解任委員会	評議員の選任について（2名）
9月1日	総務委員会	社協だよりNo.125号（10月1日号）の発行
11月28日	総務委員会	社協だよりNo.126号（1月1日号）の発行
1月17日	評議員選任解任委員会	評議員の選任について（3名）

#### ⑥監事監査の実施状況

月 日	会議の名称	内 容
5月13日	令和3年度 監 査	①令和3年度事業監査 ②令和3年度収入支出会計監査

#### (2) 理事・評議員等研修の実施

月 日	会議の名称	内 容
7月28日	理事・評議員 合同研修会	研修内容：重層的支援体制の整備について

#### (3) 大阪府社協および大阪府市町村社協連合会、河南ブロック市町村社協連絡会への参加および連携

##### ①大阪府市町村社協連合会総会

月 日	開催場所	会 議 の 内 容
4月14日	大阪府社会福 社会館 501 会 議室	<p>■議案</p> <p>第1号議案 令和3年度事業報告 第2号議案 令和3年度収支決算 第3号議案 令和3年度福祉救援活動資金収支決算 会計監査報告</p> <p>■報告事項</p> <p>令和4年度事業計画 令和4年度収支予算 令和4年度福祉救援活動資金収支予算</p>

##### ②会長・事務局長合同会議への参加状況

月 日	開催場所	会 議 の 内 容
4月14日	大阪府社会福 社会館 501 会 議室	<p>&lt;大阪府からの報告事項&gt;</p> <p>①令和4年度におけるDWA Tの取組み等について ②ホームレス自立支援施策について ③無料定額診療事業について ④社会福祉法人が実施する地域公益事業への協力について ⑤ひきこもり支援センターの紹介</p> <p>&lt;協議事項・報告&gt;</p> <p>①府社協事業計画について ②令和4年度府社協地域福祉部の重点事業 ③新型コロナウイルス特例貸付について ④令和4年度年間スケジュールについて ・連合会事業の流れについて ・短期インターンシップについて ⑤被災地社協への災害見舞金について ⑥大規模災害を見据えた生協との連携について ⑦その他 ・令和4年度年度市町村社協合同顧問弁護士の確認</p>

		・令和3年度市町村社協合同顧問弁護士の利用状況調査まとめ
7月7日	大阪府社会福祉会館 301 会議室	<p>&lt;大阪府からの報告事項&gt;</p> <p>①大阪府福祉基金地域振興助成金について</p> <p>②ヤングケアラー支援担当課長会議(研修)について</p> <p>③ウクライナから大阪府に避難された方々への支援について</p> <p>&lt;協議事項・報告&gt;</p> <p>①大阪府の施策に対する提案と予算に関する要望の検討について</p>
2月2日	国民會館	<p>&lt;協議事項・報告&gt;</p> <p>①令和5年度連合会事業について</p> <p>②新型コロナ特例貸付フォローアップ支援の状況について</p> <p>③日常生活自立支援事業の委託費について</p> <p>④合同顧問弁護士の設置に向けて</p> <p>⑤包括的支援体制の構築に向けた社会福祉法人等との協働について</p> <p>⑥近畿ブロック社協災害支援研修について</p> <p>⑦短期インターンシップの実施方法について</p> <p>⑧小地域ネットワーク活動リーダー研修会について</p> <p>⑨大阪府介護者(家族)の会連絡会について</p> <p>⑩その他</p>

### ③事務局長会議への参加状況

月 日	開催場所	会 議 の 内 容
6月2日	大阪社会福祉指導センター 研修室1	<p>①情勢報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・包括的な支援体制の整備における社協の役割</li> <li>・社会福祉法人、福祉施設との連携協働の必要性</li> <li>・地域における公益的な取組の状況調査など</li> </ul> <p>②令和4年度連合会事業の具体化について</p> <p>③大阪府の施策に対する提案と予算に関する要望書について</p> <p>④人材確保の取組み(短期インターンシップ)</p> <p>⑤災害時における支援体制について</p> <p>⑥その他</p>
9月8日	社会福祉会館 501 会議室	<p>①大阪府共同募金会からの「赤い羽根共同募金」への協力依頼</p> <p>②大阪府の施策に対する提案と予算に関する要望書の報告</p> <p>③新型コロナ特例貸付の動向について</p> <p>④大阪府社会福祉大会の開催について</p> <p>⑤大阪府社協会費及び合同顧問弁護士費用の請求に</p>

		ついて ⑥新年互礼会について ⑦その他 ・合同顧問弁護士の利用状況調査票(4月～7月)について ・ウクライナ避難民への支援体制整備時費補助金について
11月10日	大阪社会福祉指導センター研修室1	①大阪府市町村社協連合会事業の進捗状況について ②ICTを活用した地域福祉支援ツール(eコミ)等の進捗状況報告並びに防災科研との協定締結について ③令和5年新年互礼会について ④「多機関・多分野が協働した包括的な支援体制の構築に向けた市町村事業」の進捗状況の報告について ⑤「福祉の就職総合フェア」相談コーナーへの協力依頼について ⑥採用情報の取りまとめについて ⑦その他 ・実習担当者情報交換の開催について ・居住支援への岸和田市社協の取組みについて ・CSW実態調査への協力について

#### ④河南ブロック社協連絡会への参加状況

月 日	開催場所	会 議 の 内 容
7月21日	柏原市立健康福祉センターオアシス	河南ブロック担当職員会議 ・各市町村社協の現状と課題 ・会長・事務局長・職員合同研修会について ・災害時における大阪府内社協間災害VC運営支援者に関する相互支援協定に基づく運営支援者の輪番について ・大阪府社協からの情報提供について ・社協連絡会年会費について ・その他
8月24日	柏原市立健康福祉センターオアシス	・大阪府社協より連絡事項 ・各市町村社協の現状と課題 ・河南ブロック合同研修会について ・その他
2月3日	柏原市立健康福祉センターオアシス	会長・事務局長・職員合同研修会 ・包括的支援体制づくりに向けて～包括的相談支援と地域づくりへの実践～ 講師：松端克文 氏 ・重層的支援体制整備事業の中で地域貢献委員会(施設連絡会)の役割 講師：伊山喜二 氏 ・吹田市社会福祉協議会施設連絡会～地域と共に18年間の実践から～ 講師：広田倫久 氏
3月14日	柏原市立健康福祉センターオアシス	河南ブロック事務局長職員合同会議 ・大阪府社協からの連絡事項 ・事業報告について

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 決算報告について</li> <li>・ その他</li> </ul>
--	--	---

(4) 社会福祉施設連絡会との協働

「河内長野市社会福祉施設連絡会」が、市内の37の施設および社協の参画のもと、地域貢献活動を行う連絡会として、幹事会および実務担当者会議で検討を重ね、福祉学習、研修会、災害に対する取り組みなどを行った。また、連絡会加入施設と地域福祉活動団体との連携を強化した。

施設連絡会の事業実績

月 日	場 所	内 容
5月10日	ふれあいの丘・フレッシュながの	令和3年度監査
5月12日	イズミヤゆいテラス	第1回幹事会
5月30日	イズミヤゆいテラス	令和4年度総会
7月21日	市民交流センターキックス	理事長・施設長・職員合同研修会「社会福祉施設の事業継続計画（BCP）の策定について」
9月12日	イズミヤゆいテラス	第2回幹事会
2月6日	イズミヤゆいテラス	第3回幹事会
2月21日	市民交流センターキックス	大阪しあわせネットワーク市区町村域しあわせネットワーク体制構築モデル事業研修会「地域共生社会実現に向けた包括的支援体制とは」

(5) 組織構成会員制の推進

民間企業などの事業者やボランティア団体、住民参加型団体など76の事業所や各種団体に組織構成会員に加入していただき、内44名の方で評議員会が組織され、法人の重要な事項についての議決機関として機能を発揮していただいた。

組織構成会員加入団体名

1	長野第1地区福祉委員会	39	(社福)生登福祉会
2	長野第2地区福祉委員会	40	市民間保育園連絡協議会
3	楠小学校区福祉委員会	41	市身体障害者福祉会
4	三日市地区福祉委員会	42	市心身障害児・者父母の会
5	千代田東地区福祉委員会	43	市視覚障害者福祉会
6	天野小学校区福祉委員会	44	市母子福祉会
7	南花台福祉委員会	45	市遺族会
8	南花台三丁目福祉委員会	46	市原爆被害者の会
9	小山田小学校区福祉委員会	47	精神障害者家族会(わかば会)
10	加賀田小学校区福祉委員会	48	市老人クラブ連合会
11	川上地区福祉委員会	49	市作業所連絡協議会
12	高向小学校区福祉委員会	50	市医師会
13	石仏小学校区福祉委員会	51	市歯科医師会
14	美加の台小学校区福祉委員会	52	市薬剤師会

15	天見地区福祉委員会	53	市青少年健全育成協議会
16	市地域女性団体協議会	54	青少年指導員連絡協議会
17	市商工会	55	市PTA連絡協議会
18	市赤十字奉仕団	56	河内長野防犯協議会
19	河内長野ロータリークラブ	57	(社団)河内長野市シルバー人材センター
20	河内長野東ロータリークラブ	58	府立長野高等学校
21	河内長野ライオンズクラブ	59	清教学園中高等学校
22	大阪長野ワイズメンズクラブ	60	千代田学園
23	河内長野青年会議所	61	市立小中学校校長会
24	大阪いずみ市民生活協同組合	62	私立幼稚園連絡協議会
25	市ボランティア連絡会	63	市献血推進協議会
26	市人権協会	64	大阪南医療センター
27	市企業人権協議会	65	河内長野ガス
28	市民生委員・児童委員協議会	66	南海バス(株)河内長野営業所
29	支部保護司会	67	河内長野公共職業安定所
30	市更生保護女性会	68	河内長野郵便局
31	(社福)聖徳園 ワークメイト聖徳園	69	府立花の文化園
32	(社福)聖徳園 しょうとく園	70	市国際交流協会
33	(社福)あおぞらの会	71	上谷会計事務所
34	(社福)つばさの会	72	株式会社 セルビス
35	(社福)みなと寮	73	株式会社 エム・エフ・ケイ
36	(社福)長野社会福祉事業財団	74	大阪南農業協同組合河内長野支店
37	(社福)博光福祉会	75	良建ハウス株式会社
38	(社福)慈恵園福祉会	76	(株)エイチ・ツー・オー商業開発イズミヤ河内長野店

#### (6) 賛助会員制の推進

より多くの地域住民の理解と参加、財政的な支援を得て社協活動を展開するため、賛助会員を募集した。

(単位：円)

賛助会員の内訳	令和4年度	令和3年度
社協役員	53,000	10,000
社協職員	138,000	126,000
組織構成会員 ①+②	1,671,000	2,365,000
①理事・評議員選出団体	1,651,000	2,331,000
1. 事務局団体	1,024,000	1,692,000
2. 市役所(外郭団体を含む)	338,000	356,000
3. 市立小・中学校	121,000	129,000
4. 民間保育園・幼稚園	108,000	104,000
5. 上記1~4以外の団体	60,000	50,000
②理事・評議員選出団体以外	20,000	34,000
組織構成会員以外の法人・事業所 ①~④	270,000	260,000
①民間福祉施設	0	0
②医療施設	35,000	0

③関係団体	0	0
④事業所	235,000	260,000
個人登録ボランティア	5,000	3,500
福祉機器利用者	0	10,000
厨房機器利用者	0	0
福祉レクリエーション用品利用者	0	0
登録ヘルパー	6,000	0
一般の個人ほか	115,000	104,000
合 計	2,258,000	2,878,500

(7) 広告料収入の増強

社協だよりやホームページに掲載する広告事業者を募集し事業収入の確保を行った。

(8) 善意銀行

善意銀行に対し市民から金品および物品の預託を受け、地域福祉の推進を目的とする施設および団体などに払い出し有効利用した。

善意銀行事業の内訳

預託内容

預託内容	令和4年度		令和3年度	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)
一般預託金	0	0	1	10,000
指定預託金	7	218,124	109	3,089,201
合 計	7	218,124	110	3,099,201

※その他物品として、食料品、車いすなど

払出内容

払出内容	令和4年度		令和3年度	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)
一般預託金	0	0	1	10,000
指定払出金	7	218,124	109	3,089,201
合 計	7	218,124	110	3,099,201

※食事を通じた居場所づくりを進める市民活動グループ、障がい者福祉センター事業、車いす貸出し事業に払い出しを行った。

(9) 福祉基金事業

昨年度に引き続き国債の利息運用を行った。

国債運用(継続) 20年利付国債 50,000,000円

30年利付国債 50,000,000円

令和4年度末 福祉基金原資積立残高 110,901,000円

	令和4年度		令和3年度	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)
基金指定寄付金	0	0	0	0
諸収入(国債利息)	1	1,475,000	1	1,475,000
合 計	1	1,475,000	1	1,475,000



(10) 広報啓発事業

社協事業や地域の福祉活動を多くの市民に理解していただくため、社協だよりの発行やホームページによる情報提供を行った。また、より多くの世代への情報発信として、ソーシャルネットワーキングサービスを利用して情報を公開した。

①かわちながの社協だより

年3回、7月・10月・1月に発行し全戸配布。発行部数 48,100部

②ホームページ (<http://www.kawachinaganoshishakyo.or.jp/>) を随時更新した。

③社協ブログ (<http://ksyakyou.blog90.fc2.com/>) を更新し、日記調で社協事業や福祉委員会活動などの情報をタイムリーに掲載した。

④社協ツイッター (<https://twitter.com/ksyakyou>) を更新し、日々の社協の動きなどの情報を掲載した。

(11) 福祉人材の確保および人材育成

福祉人材の確保の推進を図るため、積極的に実習生を受け入れるとともに、昨年度に引き続き、短期インターンシップによる大学生の受け入れを行った。また、職員研修計画を充実し、新任職員・中堅職員・管理職等の人材育成およびスキルアップを図った。

令和4年度 職員のスキルアップ研修会等への参加状況

月 日	開催場所	研修内容	参加人数
4月1・4日	市役所	新規採用職員研修	5
4月19・27・5月2・10・17日	大江ビル・オンライン	市町村社会福祉協議会新任職員研修	4
4月25日	大阪府社会福祉会館	新入職員サービスマナーセミナー	3
6月10日	社会福祉会館	日常生活自立支援事業新任者研修会	2
6月13日	オンライン	権利擁護実務初任者研修会	3
6月18日	社会福祉会館	令和4年度大阪府市民後見人養成講座オリエンテーション	1
6月21日	社会福祉会館	日常生活自立支援事業新任者研修	2
6月22日	社会福祉会館	総合的な福祉教育業務研究会	1
6月23日	社会福祉会館	共同募金新任担当者研修会	2
7月6日	大阪府咲洲庁舎	ACTを活用した支援を学ぶ研修①	1
8月1・25日	動画視聴	令和4年度労働セミナー（第1部・第2部）	1
8月3日	オンライン	河内長野市要保護児童対策地域協議会実務者研修	3
8月5日	グランキューブ大阪	2022年度居住支援研修会及び交流会	3

8月23日	オンライン会議	令和4年度「災害派遣福祉チーム(DWAT)」合同養成研修	1
8月25日	大阪社会福祉指導センター	市町村社協中堅職員研修	3
8月24・31・9月7・14・21・28日	動画視聴	社会福祉法人会計の簿記中級講座	2
9月3・17・10月15・29日	社会福祉会館	令和4年度大阪府市民後見人養成講座(基礎講習)	1
9月11日	オンライン	医療的ケア児等支援者オンライン研修	1
9月13日	社会福祉会館	総合的な福祉教育業務研究会	1
9月15・29日	オンライン	大阪府障がい児等療育支援事業全体研修	1
10月5日	大阪府社会福祉会館	ACTを活用した支援を学ぶ研修②	1
11月18日	動画視聴	令和4年度マッセ市民セミナー 成年後見制度利用促進セミナー	4
11月22日	動画視聴	相続財産管理人・不在者財産管理人制度に関するセミナー	3
11月29日	オンライン	河内長野市要保護児童対策地域協議会実務者研修	2
11月30日	河内長野市役所	自殺対策連絡会「ゲートキーパー養成研修」	2
11月30日	すばるホール	大阪府富田林保健所管内難病医療療養ネットワーク研修会	2
12月19日	岸和田市立福祉総合センター	成年後見事例検討会	3
12月6日	社会福祉会館	総合的な福祉教育業務研究会	1
12月8日	動画視聴	権利擁護セミナー	2
12月9日	オンライン	大阪しあわせネットワーク実践セミナー	2
2月1日	オンライン	河内長野市要保護児童対策地域協議会実務者研修	3
2月14日	国民會館	中核機関設置市連絡会	2
3月7日	富田林保健所	富田林保健所管内精神保健福祉医療関係職員研修会	2
3月7日	ゆいテラス大多目的スペース	職員人権研修(動画視聴)	31

3月7日	富田林保健所	大阪府富田林保健所管内難病医療療養ネットワーク研修会 統合失調症の理解と支援～パーソナルリカバリーとクライシスプランについて～	40
3月8日	あかみね	職員人権研修（動画視聴）	35
3月15日	社会福祉会館	令和4年度地区募金会事務長会・研修会	3
3月16日	社会福祉会館	総合的な福祉教育業務研究会	1

(12) 人事・労務管理の充実

労務手続き、経理事務、勤怠管理のIT化に向けた準備、検討を行った。

(13) 社協運営基盤の強化・拡大

誰もが健康に、住み慣れた地域で住み続けられるまちづくりを推進するため、エイチ・ツー・オー リテイリング(株)との連携により、イズミヤ河内長野店4階に整備された河内長野市地域まちづくり支援拠点において、産学官民の多様な担い手の連携による推進体制のもと、拠点の有効な活用を図るため、コーディネート事業を行った。

①地域まちづくり支援拠点の運営・管理

○いつでもだれでも集える多世代交流の場として、運営・管理を行った。

【開設日】毎日（イズミヤ河内長野店の定休日を除く）

【開設時間】原則として午前9時～午後8時

○多目的室の貸室事業の運営・管理を行うとともに、利用促進を図り、多様な主体による地域活動の活性化を図った。

【利用日】毎日（イズミヤ河内長野店の定休日を除く）

【利用時間】原則として午前9時～午後5時

【貸室利用数】年間911件

○地域まちづくり支援拠点の区分占有者及び、イズミヤ河内長野店を運営する(株)エイチ・ツー・オー 商業開発との調整を行い、必要に応じ、関係者による会議等を開催し、取りまとめを行った。

【運営協議会】令和4年9月9日・令和5年3月10日開催

②地域まちづくり活動のコーディネート

市及び運営協議会のメンバーと連携・協力し、多世代の交流を促進するとともに、健康づくりや生活応援、子育て・教育環境支援など、地域住民主体の多様な取り組みを創出し、地域の課題解決や活性化につなげるため、各種機関・団体へイベントへの参加を募り、連絡調整を行った。

○主な取組み

実施日	取組み内容
4月1日～	ラジオ体操（R3.7.1～継続 平日毎日9時45分～）の地域住民への参加呼びかけ
4月3日	ゆいテラス1周年イベント
5月22日	スケートボード体験会（子ども対象）
7月24日	市教育委員会主催の子供向けイベント「えいご村のえんにち」

10月23日	河内長野市政策企画課主催「お仕事体験イベントお仕事図鑑」
11月2日～15日	市消防本部主催の小中学生による消防図画の展示
11月22日～24日	河内長野市産業観光課主催「市内事業者のPRイベント」
12月11日	市教育委員会「えいご村のクリスマス」と同時開催「ゆいテラスのクリスマス」
12月15日～3月31日	桃山学院大学学生による「壁新聞」の掲示

### ③産・学・官・民の連携促進

市と協力し、地域住民や事業者、教育機関など、多様な主体による連携を促進し、社会実験的な取り組みなどを通じ、地域の活性化や生活利便性の向上を図るため、各種機関・団体との連絡調整を行った。

#### ○地域まちづくり支援拠点参入団体連携会議の開催

年間12回開催（毎月第3木曜日）

#### ○社会実験的な取り組み

実施日	取組み内容
4月1日～3月31日（通年）	ラジオ体操（平日毎日9時45分～）による地域住民の健康増進および地域の活性化に向けた取り組み
5月29日～6月30日	桃山学院大学学生発案による「ストリートホワイトボード」（内容：フリースペースの窓にシートを貼り誰でも自由に絵を描けるようにすることによって、来る人の楽しみが増えるような仕掛けづくり。）
5月29日～3月31日	桃山学院大学学生発案による「みんなの本棚」（内容：フリースペースのいたる所に小さい本棚を置いて、来た人が自由に読める本を置き、どんな反応があるか見てみる。）
7月24日	市教育委員会主催の子供向けイベント「えいご村のえんにち」に合わせた「ゆいテラスのえんにち」開催
8月22日～9月5日	桃山学院大学写真部による展示会
1月11日	献血の実施による地域住民への呼びかけ
2月16日～3月31日	多目的スペース、ワークスペース利用者対象アンケート実施

用語集

索引	用語	意味	ページ
あ	e コミ・プラットフォーム	国立研究開発法人防災科学技術研究所が開発した地域防災向けオープンソースのこと。	13
	医療的ケア児	・人工呼吸器を装着している障がい児その他の日常生活を営むために医療を要する状態にある障害児 ・重度の知的障がいと重度の肢体不自由が重複している重症心身障がい児者	19
か	介護サービス情報の公表	介護サービスの内容や、運営状況に関する情報を、厚生労働省が管理する「介護サービス情報公表システム」に公表することが事業者には義務付けられている。この制度の活用により、利用者は各事業所の介護サービス情報を比較検討し、自分にあった、より良い事業者を選択できるようになっている。	25
	協議体	地域住民、事業者、関係団体などが集まり、話し合ったり、それぞれ協力できることを持ち寄るなど、地域の困りごと解決に向けて動くこと。 市内では、市域全体を対象とした「地域移動支援を考える会」「生活支援の仕組みづくり」「集合住宅ミーティング」のほかに、各地域で話し合いの場が設けられている。	11
さ	しあわせネットワーク	大阪府内の社会福祉法人が連携・協働して取り組む「地域貢献事業」のこと	45
	ソーシャルネットワーキングサービス	互いが友人を紹介し合い、新たな友人関係をを広げることを目的としたコミュニケーション・サービスのこと。基本的には会員制の掲示板・日記サービスだが、一般のウェブと違い、誰が自分の日記を見たのかが、明確にわかるのが特徴。	14
た	短期インターンシップ	学生に就業体験の機会を提供する制度。実際に企業に赴かせ、短期間、職場体験をさせること	48
	地域相談支援員(CSW)	制度の狭間や複数の福祉課題を抱えるなど、既存の福祉サービスだけでは対応困難な事案の解決に取り組むために、支援を要する人に対する個別支援や住民活動の支援などを行う。	16
は	ピアカウンセリング	障がい者自身がカウンセラーとなって、同じような障がいのある人の思い・悩み・やりたいことを仲間として聞く相談のこと。	18
ら	レジオネラ症	病原体に曝露された誰しものが発症するわけではなく、細胞内寄生細菌であるため、細胞性免疫能の低下した場合に肺炎を発症しやすい。	30